

熊本縣概要說明

- 熊本縣農業概要
- 熊本縣6次產業化方針
- 關於承擔者措施(新就農措施)
- 造村計劃

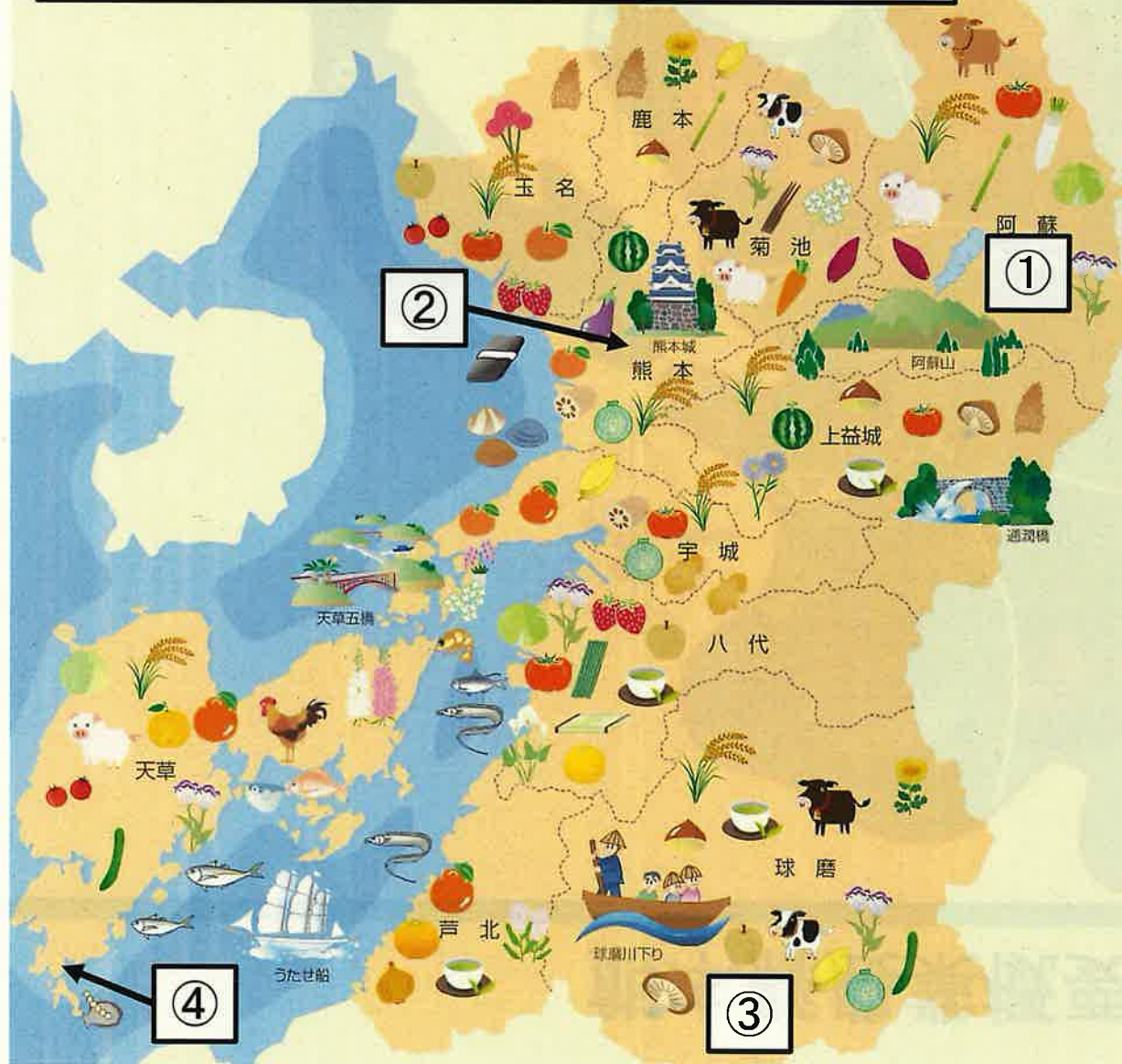
熊本縣 農林水產部

熊本縣農業概要



熊本縣產農林水產品和氣候

利用變化多端的地形和氣候，培植出許多農林水產品



主要地區的天氣(2021)

① 阿蘇乙姫	
氣溫	13.7°C 最高32.6°C 最低-10.6°C
日照時間	1813.9時間
降水量	3003.5mm
② 熊本	
氣溫	17.9°C 最高36.5°C 最低-4.8°C
日照時間	2113.2時間
降水量	2347.5mm
③ 人吉	
氣溫	16.4°C 最高36.5°C 最低-5.0°C
日照時間	1835.0時間
降水量	2706.0mm
④ 天草牛深	
氣溫	18.8°C 最高36.8°C 最低-1.3°C
日照時間	2056.5時間
降水量	2512.5mm

熊本縣農林水產品全國排名 (2020)



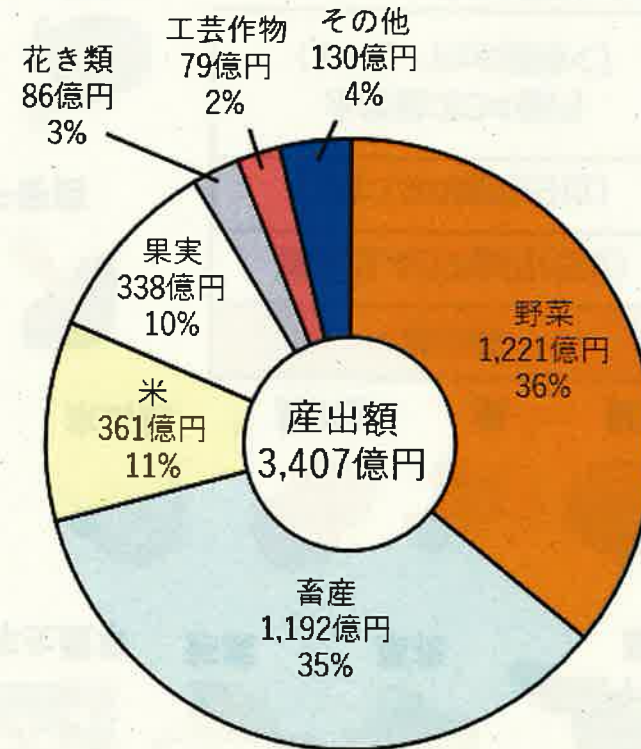
農產品方面，有七種
產品產量居日本首位

熊本縣的農業產值、生產農業收入的比例

主要農業相關數據

項目	數值	全國排名
農業產出值(2020)	3,407億圓	5位
生產農業收入(2020)	1,495億圓	3位
農業經營數 (2021)	33.2千經營數	13位
耕地面積 (2021)	117.5千ha	13位

類別農業產出值 (2020)



生產農業收入走向



生產農業收入呈上升走向
蔬菜、畜產品、大米、水果產
量佔比高

熊本縣6次產業化方針



熊本縣 農林水產部 流通農業商務課

1. 熊本縣現狀

商品化

<6次產業化銷售額>

- 2021年度6次產業化農業生產相關事業銷售額
⇒787 億日元 在日本47個都道府縣中排名第三 (2021年/2013年119%)
- 行業狀態類型明細
 - 農產品直銷市場：365億日元
 - 農產品加工：407億日元
 - 其他（觀光農園、農家樂等）：15億日元

<支援對象>

- 為獲得國家對6次產業化的支持，必須通過綜合商業計劃認證，本縣認證項目數為 93 個，在全國排名第六。
- 6次產業化的經營者們不斷增加且更多元化。有一小部分企業已被綜合商業計劃認證為大規模企業法人。大部分還是小規模的經營。
⇒今後的課題是將小規模經營支援的措施具體化。

2. 本縣6次產業化支援①

◎著眼於小規模經營重點扶持

設備 機器

6次產業化投資前試業支援（縣級補助）

衛生

<6次產業化加速化事業支援>

（補助率：定額 上限200千日元）

○支援6次產業化的加工委託、分析等



面向全國開展的設施機械開發（縣級補助）

<農林水產加工維護>

（補助率：1/2以內 上限5000千日元）

○為了提高衛生管理進行抗原檢測，防止異物（金屬等）混入



高溫高壓殺菌機



金屬探測機

2. 本縣6次產業化支援②

◎支持跨行業合作開發商品和通過EC開拓銷路

跨域合作

拓展通路

⇒

宣傳、銷售、
以~~提高~~提高
產品價值

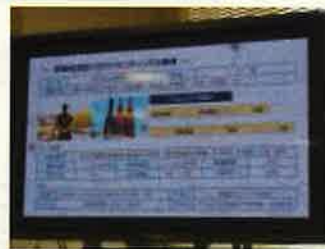
提高跨行業合作的6次產業化水準·開設東京首都圈商談會

- 利用2次產業、3次產業（加工業者、採購商、設計師等）擁有的創造力和資訊力，通過合作，實現農林漁業者難以開發的商品和創新商品
- 提高商品的故事性和宣傳技術，培養具有宣傳商品能力和銷售能力的人才
(舉辦跨行業合作研討會、商品·PR支援、EC網站銷售等支援)

產業創新



講師研討會上的演講



介紹眾籌案例

本縣6次產業化支援③

農業產品大賽

◎努力挖掘和改良具備本縣特色的新商品

舉辦“農產品加工食品大賽”

2022年8月31日（週三）舉辦

展品數量：30件（參展商：21組）

獲獎數量：10個（金獎、銀獎、銅獎）

為了促進具有縣產農林水產品特色的加工食品的開發和改良，並發掘優秀商品，舉辦了2022年熊本縣農產品加工食品大賽。



評審現場



金牌得主：烤肉醬



金獎得主：加工酸奶

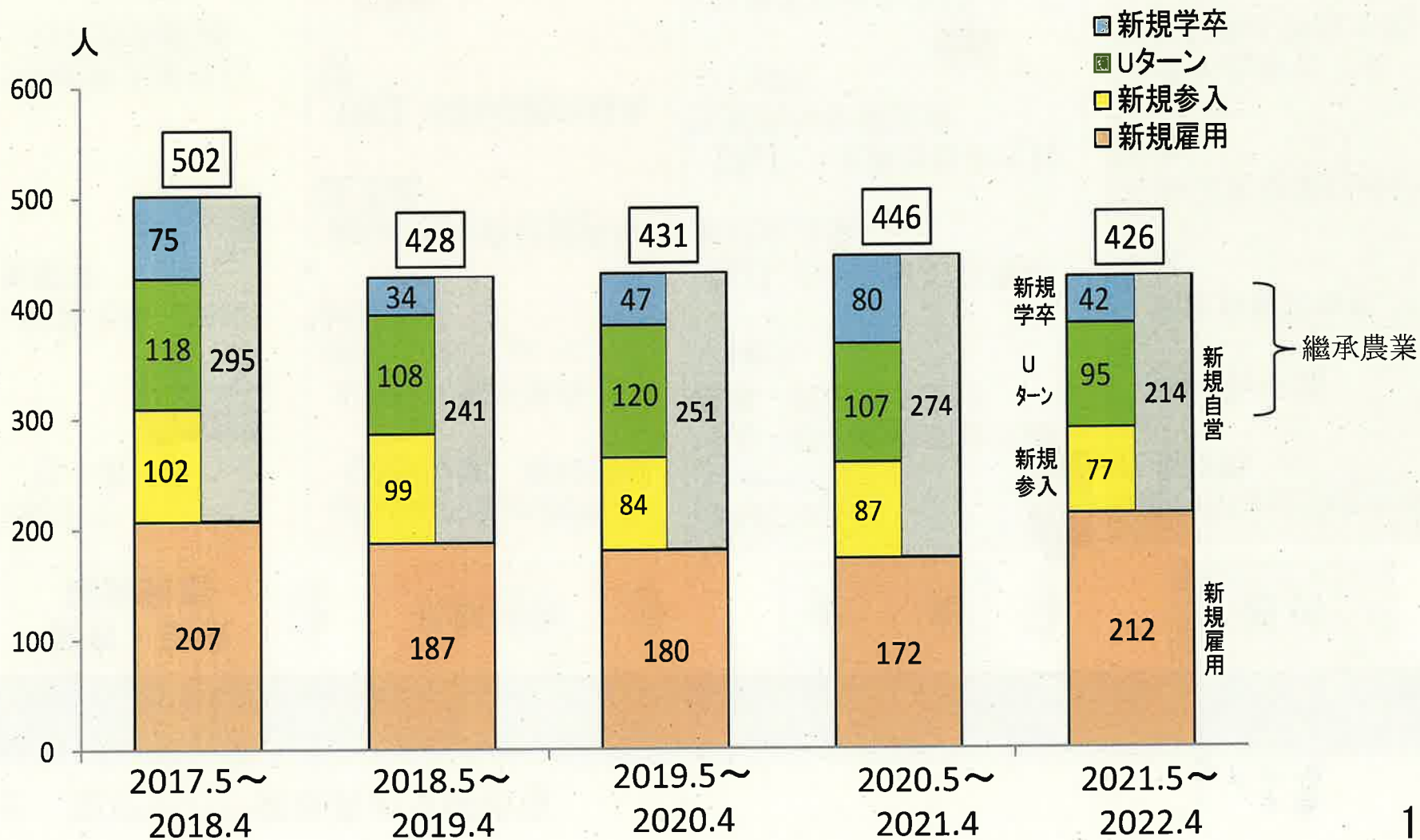
關於承擔者措施 (新就農措施)



熊本縣 農林水産部 農地・承擔者支援課

1 新就農者相關調查結果

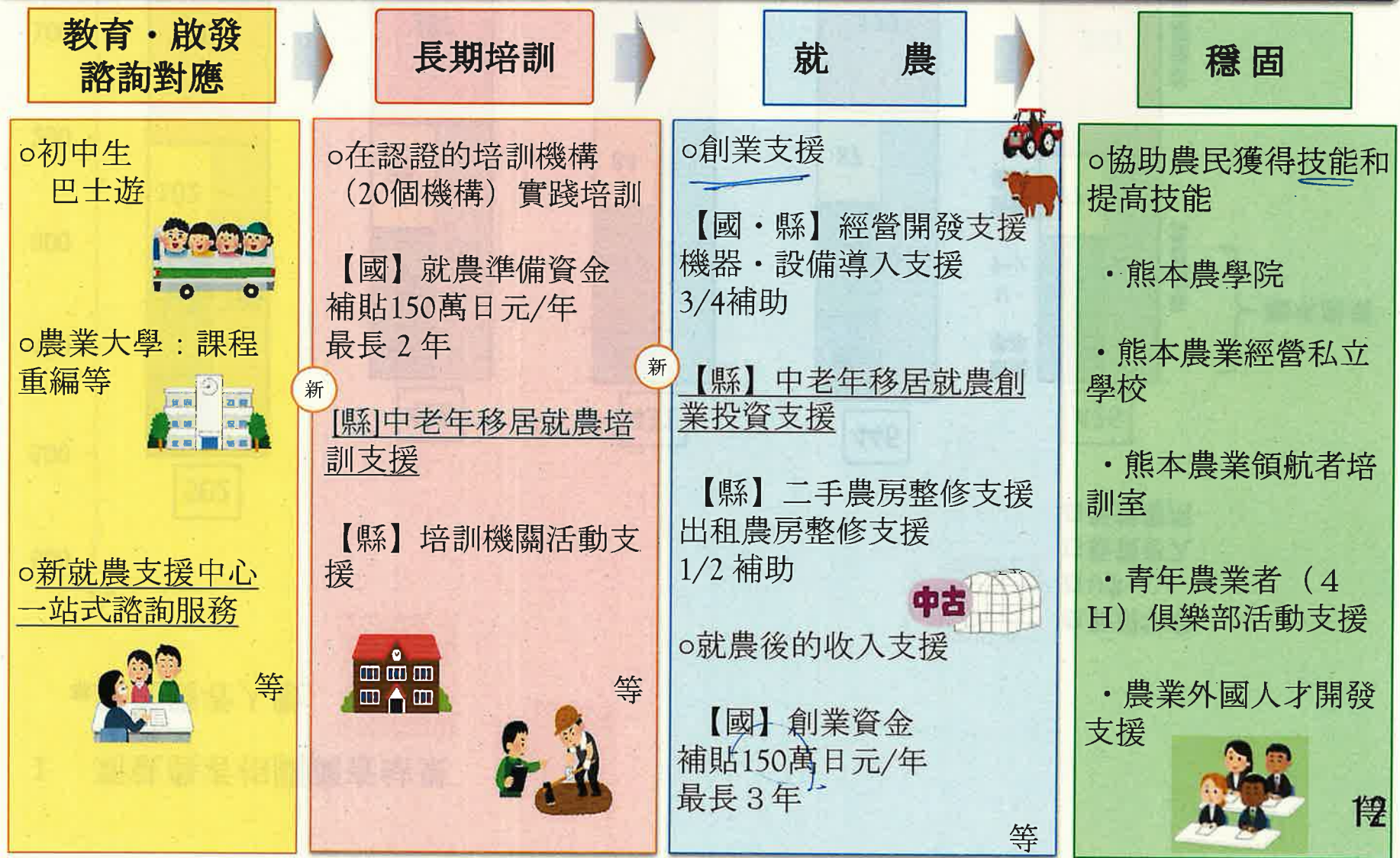
■新就農者人數



2 關於2023年新就農的支援措施

百大青農

擴大扶持措施，穩步實施階段性精細化扶持，促進新農入駐



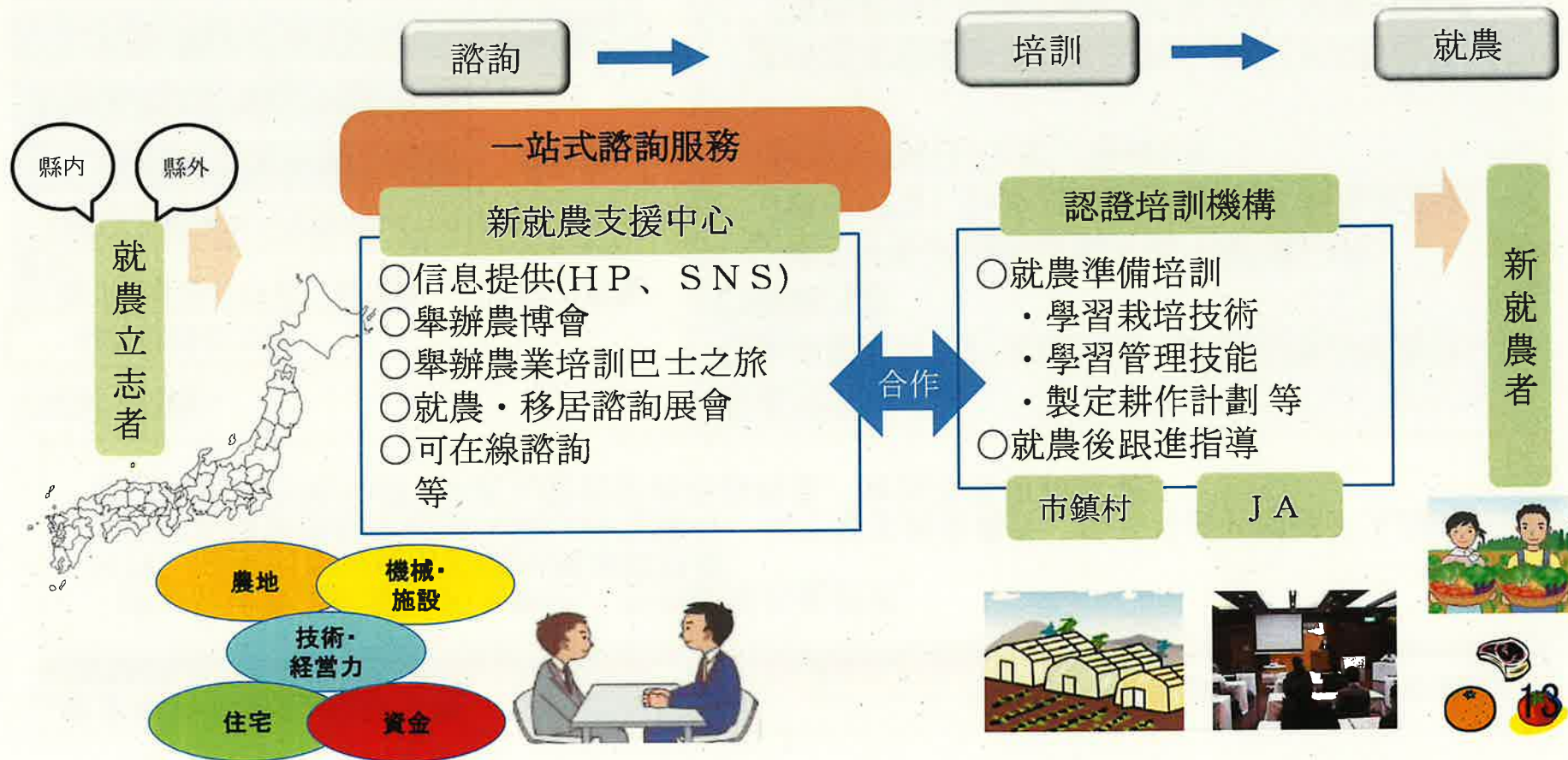
中老年

中古

穩

3 關於熊本縣新就農支援中心

- 農業不是一朝一夕的事情，它需要充分的準備和時間。
- 就農準備涉及廣泛領域，包括“栽培技術”、“管理訣竅”、“農地”、“機械設施”、“資金”、“住房”等。
- 新就農支援中心就是給立志成為農民的人提供農業諮詢平台，提供一站式服務。此外，與實施實踐就農準備培訓的認證培訓機構合作，配合支援就農事業順利進行。



中老年移居就農培訓支援

【著力促進移民定居】

新

預算金額1400萬日元 (1400萬日元)

- 隨著農民數量的減少和老齡化，急需確保新就農者。
另外，有望因新冠疫情影響出現返鄉熱潮。
- 新冠疫情影響越來越多人關注移居鄉村，為了確保新就農者，除了目前49歲以下人群外，國家政策規定外的50歲~59歲人群也作為培養對象，實施並檢驗其效果。

<現狀・課題>

給新就農的支援

50歲以上者沒有任何支持措施，他們缺乏農業需知

就農準備資金 (培訓時)

創業資金(就農後)

經營發展支援事業(初期投資)

二手農房整修支援 (輕減初期投資負擔)

青年等就農資金(確保資金 (免息貸款))

無支援

49歲

租或買
土地

【49歲以下
者的支援
(繼續)】

+

【50歲~59
歲者的支援
(國家支援
対象外)】



確保
增加
移居者
新就農者



<事業概要>

○全体事業費：2700萬日元 (縣事業費1400萬日元)

○事業內容

①中老年移居就農培訓支援 (4百萬日元)

【資助詳情】對象為縣外移居的50~59歲就農者
最高120萬日元/年，最長1年

②中老年移居就農初期投資支援 (1000萬日元)

【資助詳情】對象為縣外移居的50~59歲就農者
機械・設施等導入支援。1/2補助
事業費上限500萬日元。

○負擔比率：①縣1/2、市鎮村1/2

(市鎮村無補助，只享受縣級補助)

②縣1/3、市鎮村1/6、新就農者1/2

○事業主体：①縣・市鎮村 ②市鎮村

○事業期間：2023年度



造村計画



2023年5月16日（星期二）
熊本県農林水産部
農村振興局造村課



丘陵山區域魅力無窮活力四射適合開發可持續發展農村

今日內容

區域振興

1 最大化打造多樣化當地資源 “超級丘陵山區域”

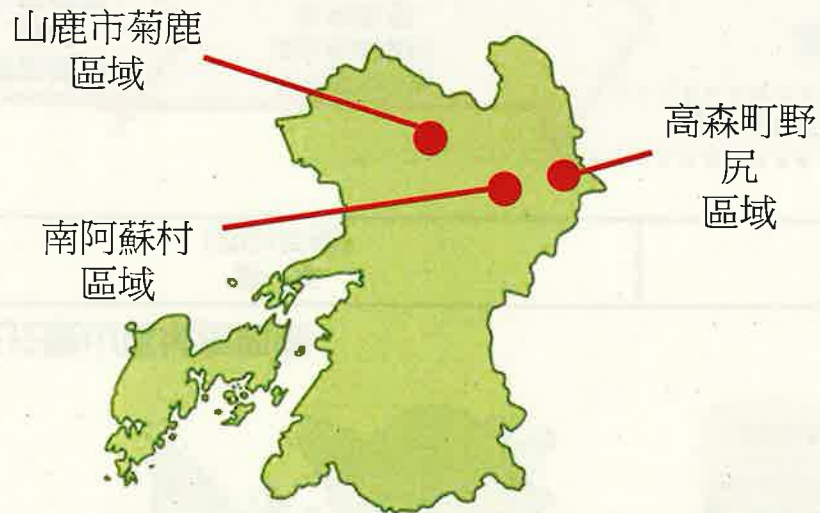
通過梯田遺產和世界農業遺產振興區域發展

2 全力支援梯田建設

3 宣傳阿蘇地區世界農業遺產



超級丘陵山區域



1 山鹿市菊鹿地域

- 「菊鹿ワイナリー」を核とした交流・関係拠点づくり (周遊プラン・観光商品開発等)
- 「山鹿和栗」のブランディング (生産拡大・加工品開発等)



2 高森町野尻地域

- 新たな経済循環を生み出す拠点づくり (ドライワーカーの商品化・販売促進)
- 移住・定住のための体験移住施設の整備、受け入れ体制づくり



3 南阿蘇村地域

- 村内レストラン等へ農産物を配送する体制構築等
- 農業みらい公社を核に「農村の景観」を守る取り組み (遊休農地での耕作、新規就農者の独立支援)



水性補助

2 支援梯田區域建設

為了促進維護耕作條件比其他地區更嚴酷的梯田，除了啟發縣民們保護梯田的重要性及保護重要資源的價值觀外，還聯合市鎮村基於梯田區域振興法開展各種支援和活動等。

主要活動

○縣內 11 市鎮村，36 個地區根據梯田區域振興法
*接受“梯田區域指定”。在這些地區展開振興地區為目的的支援活動計劃。

棚田地域振興法に基づく手続きの流れ



* 棚田地域振興法は、棚田を活用した地域全体の活性化を図ることを趣旨としたもの。



つなぐ棚田遺産 (ポスト棚田百選)
※県内では17地域が選定 (全国2位)

活動例子

- ・設置景點の息板
- ・陽台咖啡廳、輕卡咖啡廳、農家餐廳、餐廳、梯田露營等交流會。
- ・農業體驗活動等

○利用“保護家鄉水土基金”，支持當地居民在梯田地區等開展的活動，並努力提高大家對保護梯田重要性的認知。

活動例子



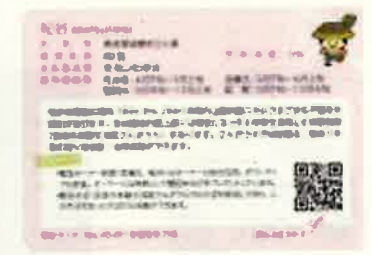
使用梯田的農業體驗



石積の傳統技術の傳承と併せた景觀整備の取組み



国で定めた統一デザインによる全国「棚田カード」の作成



3 推進阿蘇推進地域世界農業遺產

阿蘇地區是遍佈活火山破火山口周邊約22000ha的草原上通過當地的農業開發已經維持了數千年的地區。“阿蘇草原的維持和持續型農業”在2013年5月被認證為世界重要農業遺產。正努力推動倡議將阿蘇草原的農業世代傳承。

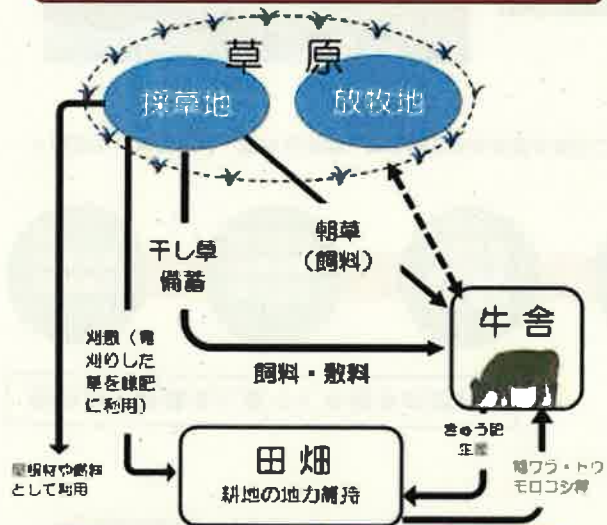


阿蘇破火山口



商標

阿蘇草原的農業



通過農業生產活動管理草原



放牧紅牛



雜草堆肥卷

主要措施

PR活動

○為了提高阿蘇對世界農業遺產的知名度，做了多方面努力，參展世界農業遺產博覽會、通過SNS進行宣傳、給阿蘇農產品上標誌等。

促進草原放牧

○向飼養紅牛的農民提供補貼。

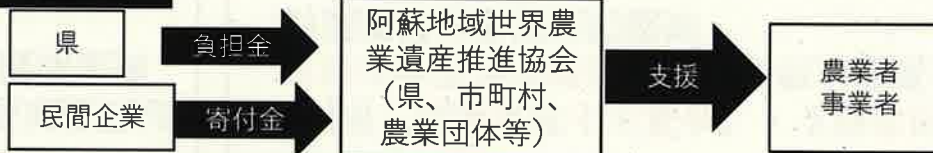
確保就農者・培育人才

○將就農立志者送往先進農戶接受培訓

茅材商品化支援

○銷售阿蘇的茅材商品化品。作為傳統建築物等的屋頂材料被廣為用之。

實施體制



認證世界重要農業遺產十周年紀念

本年度迎來認證世界重要農業遺產第10個年頭。總結至今為止的努力和麵向今後10年的動向，將展開10週年紀念活動。

- 舉辦10週年紀念儀式
- 舉辦能體驗阿蘇“食品”的展銷會
- 通過與“食品（廚師等）”的合作，進一步宣傳阿蘇世界農業遺產的重要價值性。

阿蘇の広大な草原は、野焼き、放牧・採草という農業上の利用により千年もの長い間維持されてきたもので、この営みを通じて地域固有の文化、生物多様性、景観が形成され、今も多様で豊かな資源が守られている。

千年にわたって
草原を受け継いできた
阿蘇の農業。



刈草は牛馬の飼料、敷料のほか、堆肥として利用される。昔ながらの刈草の保存方法である「草小積み」は阿蘇の代表的な冬の風景。



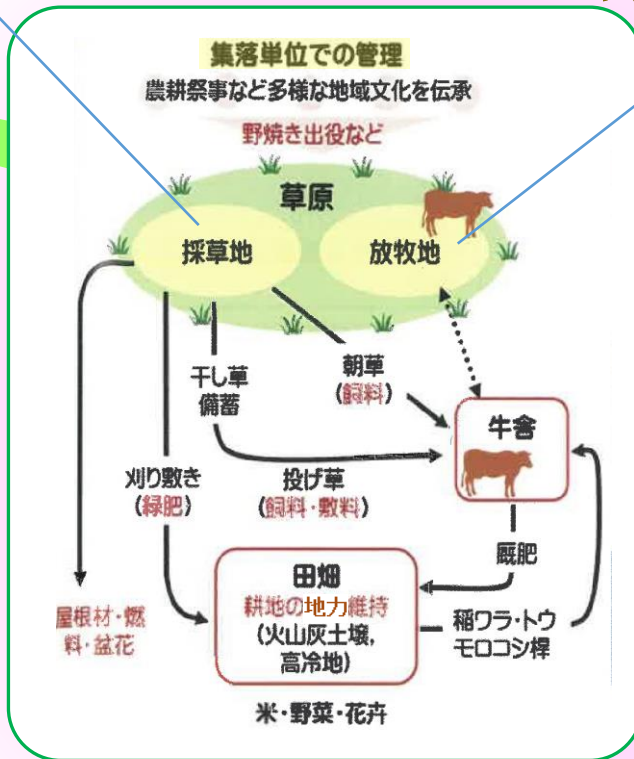
多様な農産物

文化の伝承



阿蘇の農業システム

雄大な草原の風景



あか牛の放牧



採草作業



草原の維持管理

野焼き

野焼きは春を迎える2月後半から4月にかけて行われ、低木を除去し、初夏にはススキなどを再び繁茂させる省力的で効果的な草原管理技術。



独自の生物多様性



豊かな水



世界農業遺産認定後の効果・成果

※R4.8現在

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">農林畜産業 の振興</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 野草堆肥の有用性研究の成果として、野草堆肥への需要が増加 阿蘇草原再生オペレーター組合採草量 442 t (R3) ✓ 地元事業者が取り組む特産の「おぐに黒大豆」を使用したスイーツ開発や、産山村の野花、ハーブ等を用いたアロマセットの制作など、阿蘇の農畜産物を活用した六次産業化の取り組みを支援。 ✓ ニューファーマーズ経営セミナー、農業師匠制度により新規就農者数が増加 ホームページ及びパンフレットにより管内外で周知・PRを実施 阿蘇地域における新規就農者 27名 (R3) 	 <p style="text-align: center;">おぐに黒大豆 ソフトクリーム(左)</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">草原の保全</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 繁殖あか牛導入支援事業、あか牛オーナー制度の推進 熊本県や阿蘇草原再生協議会等と連携し、繁殖あか牛の導入を支援 熊本県 延1,190頭 (H28) →延1,509頭 (R3) 阿蘇草原再生協議会 延332頭 (H28) → 延629頭 (R3) ✓ 周年放牧、広域放牧（阿蘇地域内外からの放牧）の実施 周年放牧の実施取組者・頭数がそれぞれ938頭・69戸 (R2) 広域放牧の実施取組者・頭数がそれぞれ824頭・72戸 (R2) ✓ 野焼きボランティアの派遣、活動費の支援により管理放棄された牧野の野焼きが再開された。 野焼き再開箇所数 1 牧野 (R3) 	 <p style="text-align: center;">あか牛の焼肉</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">交流の拡大</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 阿蘇産農産物 P R 映像の活用や九州管内での販売コーナーの設置のほか、令和3年度には地元のひとり親家庭への米袋進呈や、YouTuberによる阿蘇農畜産物の商品紹介を実施するなど、阿蘇地域内外において阿蘇世界農業遺産の認知度向上を図った。 ✓ フットパスコースの設定 (H24：－ →R3：14コース) ✓ 会場と阿蘇西小学校、南阿蘇中学校、県立阿蘇中央高校等をオンラインで結び、「令和3年度こども地域学習発表会」を実施した。 ✓ 九州における世界農業遺産認定地域である3地域で「九州農業遺産フェア」を宮崎市で開催し、熊本県・大分県・宮崎県の魅力発信を行った。（新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため阿蘇地域は展示のみ） (R3) 	 <p style="text-align: center;">こども地域学習発表会 の様子</p>

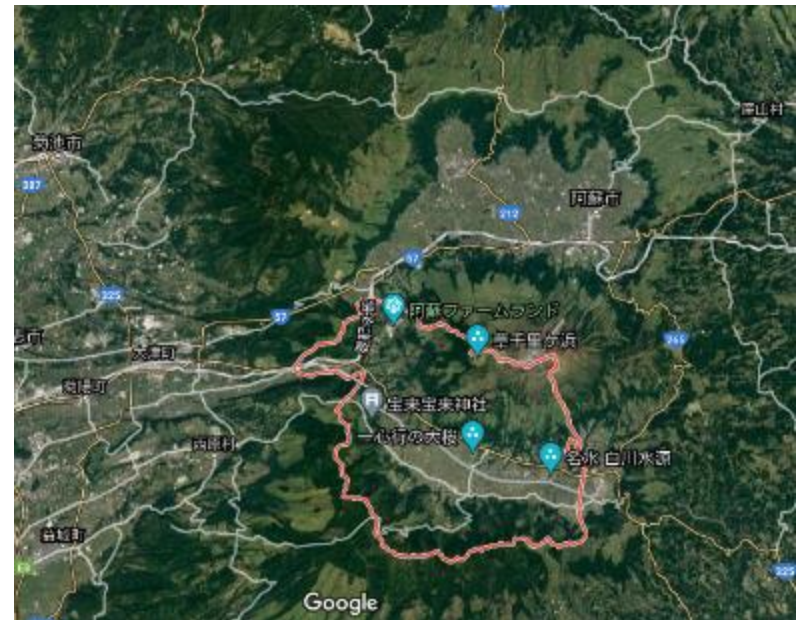


南阿蘇村へようこそ

南阿蘇村の概要

地形、気候

南阿蘇村は阿蘇カルデラの南部、阿蘇五岳と南外輪山に囲まれた南郷谷に位置します。標高400m程度で、年間平均気温は14.6°C、年間降水量は約2,900mmです。



人口

南阿蘇村の人口は2022年8月31日現在 10,200人で、高齢化が進んでいます。

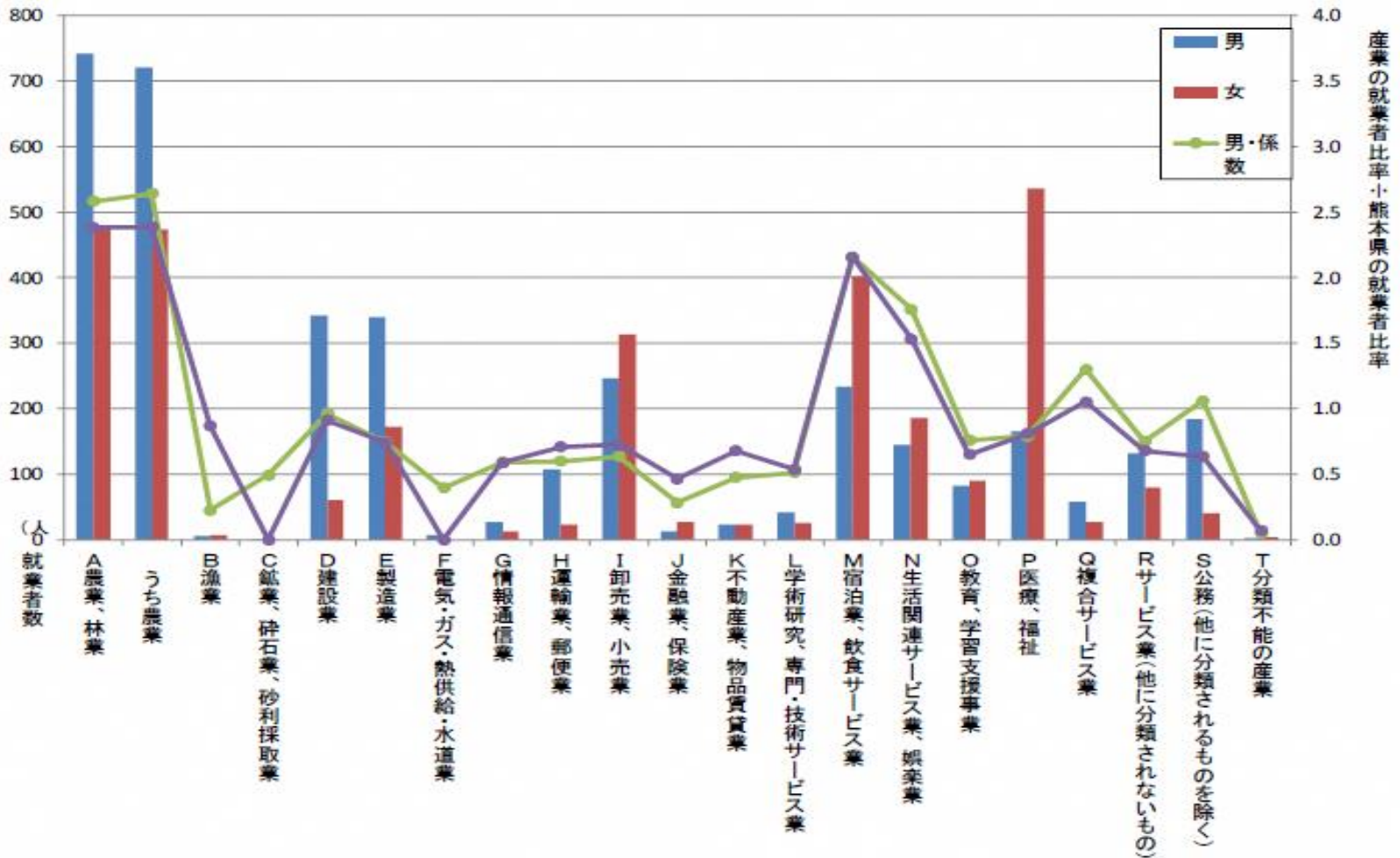


名水
白川水源

1985.1.9 環境庁指定



南阿蘇村の男女別産業別人口



南阿蘇村人口ビジョンより引用

南阿蘇村の主な農産物









2013年 世界農業遺産に認定

平成25年5月認定

熊本県阿蘇地域

阿蘇の草原の 維持と持続的農業

「野焼き」「放牧」「採草」により草原を人が管理することで日本最大級の草原を維持。草を活用し長年農業が行われて景観が保持され、数多くの希少な動植物が生息。



あか牛の放牧



草原の維持に必要な野焼き

草原は自然のままでは時間とともに森林へ移り変わりますが、阿蘇地域では草原を人が管理し続けることで日本最大級の草原を維持しています。人々は四季を通じて、草を焼く「野焼き」、牛や馬を放つ「放牧」、草を刈る「採草」を中心に草原の管理を行います。阿蘇の野焼きは表面だけを焼くため、土中の植物の種や昆虫に影響がなく、希少な動植物が数多く残っています。

また、元来農業には不向きである酸性で養分の乏しい火山性土壌の土地を長年かけて改良し、涼しい気候風土を活かした米や多様な野菜の生産が行われています。

南阿蘇村の農業

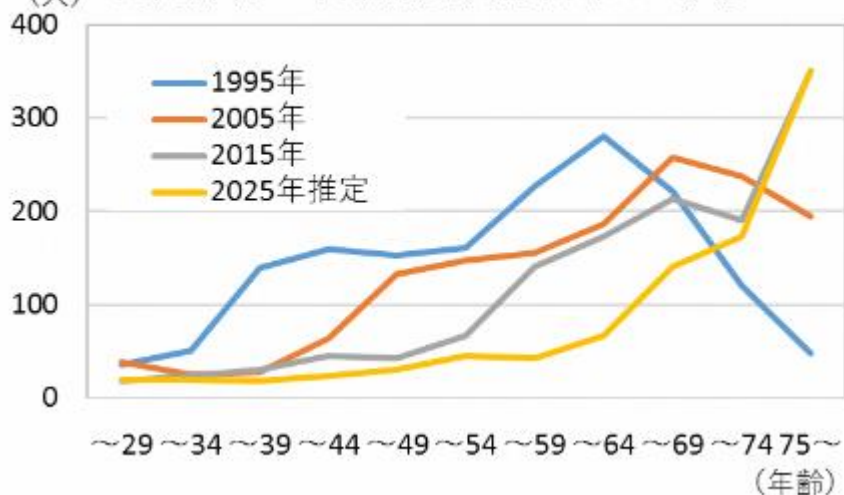
- ・経営耕地面積は1995年からの20年間で田256ha、畑151haの合計407haが減少しました。
- ・農業就業人口は新規就農者が少なく、高齢化が進んでいます。
- ・品目別農業産出額では 稲作が大きく減少し、野菜と畜産では増加しました。
- ・安い輸入農産物が増加する中で農家の将来展望は厳しい状況です。

経営耕地面積

単位 ha

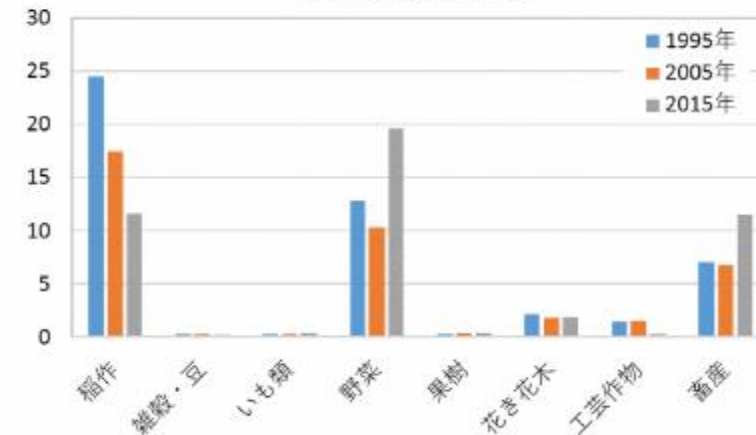
年	田	畑	合計
1995年	1,998	416	2,414
2015年	1,742	264	2,006
差	-256	-151	-407

(人) 南阿蘇村の年齢別農業就業人口の推移



(億円)

品目別農業産出額



南阿蘇村の観光客数の推移

熊本地震前の2015年に南阿蘇村を訪れた観光客は宿泊客で426千人、日帰り客で5,378千人でした。2019年も熊本地震前の水準には戻っていません。



村の取り組み例

民間企業と連携した地下水涵養や水田オーナー制度等

- ・民間企業からの寄付を財源に冬季湛水に取り組む農家に補助

有機農業の推進

- ・村堆肥センターの堆肥に対する半額補助
- ・環境保全型農業直接支払交付金の活用

農業後継者の育成

- ・南阿蘇村農業研修生受入協議会を2011年に設立
役場農政課を窓口として先進農家で研修

南阿蘇村農業みらい公社の設立(2021年10月)

- ・農地仲介事業
- ・新規就農者育成研修(地域おこし協力隊)
- ・農作業受託(そばの収穫、乾燥調製)

民間企業と連携した冬期湛水 (R3年105ha)

地下水涵養に賛同した企業から寄付をいただき、冬期湛水する農家に補助3,000円/10a



105haで約2万人が1年間に使う水道水の量を涵養(推定値)

農業公社による農地仲介事業

☰ 売りたい、貸したい農地 🔍 ⋮

南阿蘇村農業公社で把握できている、地権者が売買または賃貸を希望している農地を掲載しています。 ☆

表示回数 21 回

公開: 5 時間前

共有

☑️ 貸したい、売りたい農地

- 📍 売りたい農地 2
- 📍 貸したい農地 1
- 📍 売りたい農地 3
- 📍 売りたい農地 4
- 📍 売りたい農地 5
- 📍 売りたい農地 6
- 📍 売りたい農地 7
- 📍 売りたい農地 10

📍 この地図はユーザーによって作成されたものです。詳しくは、[独自の地図を](#)

農業公社による新規就農者の育成



水稲の有機栽培



ゴマの有機栽培実証



ショウガの有機栽培実証



落花生の有機栽培実証



耕作放棄地の草刈り(8月)



ニンニク植付け



農業研修生受入協議会①

就農フェア①



就農フェア②



農業研修生受入協議会②

就農バスツアー①



就農バスツアー②



農業研修生受入協議会③

実地研修(ミニトマト)



実地研修(アスパラガス)



農業研修生受入協議会④

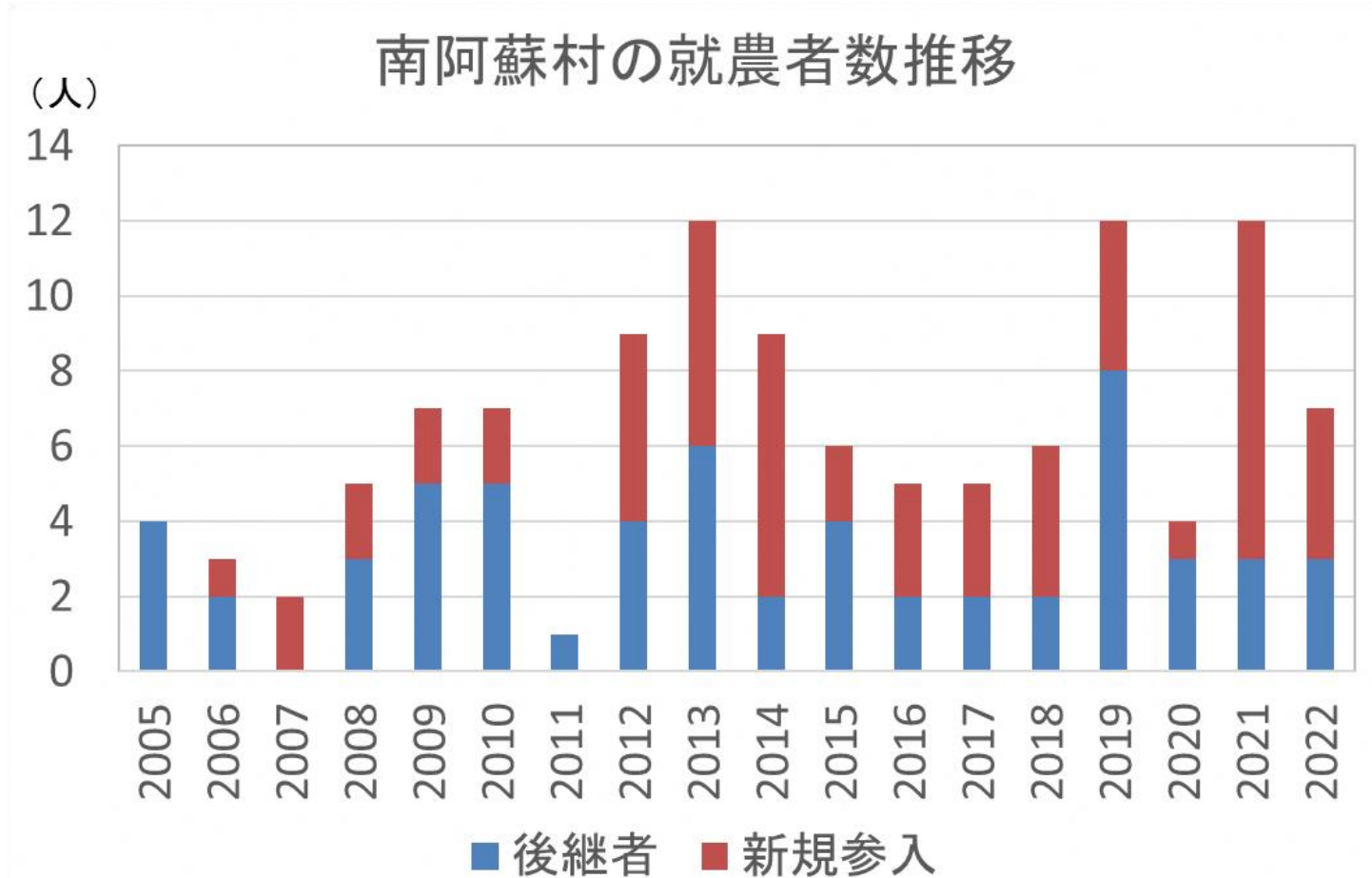
座学研修



巡回指導



南阿蘇村の新規就農者の推移



県スーパー中山間地域創生事業～ファンと共に**水土里**を育む～

有機と地産地消で稼げる農業

里山の魅力で儲かる観光

そして一体がうれしい・心がよい

しい特産品

農地集約・後継者育成

就農して農地を維持するわ

草原の維持を頑張ろう



鳥獣害に強い作物を作ろう



有機農業の推進



有機農業で販路が安定した

安全・安心な農産物
自然環境に優しい農業

農観連携（地産地消）の推進

新鮮で安全な食材だ

喜んでもらえるし、PRにもなるね



農産物を買に行こう



いっぱい食べたな～

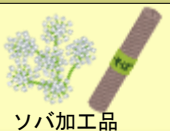


新鮮で美味しいね

旅館

特産品の開発

(開発商品例)



ソバ加工品



ルバーブジャム



エゴマドレッシング

関係人口の拡大

この景色は素晴らしいな

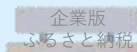
みんなで南阿蘇を応援しよう



体験しにおいで



南阿蘇の良いところを紹介します



企業版ふるさと納税



寄付

地域での成果

有機農業で所得安定!

荒廃農地が減り、
鳥獣被害が減少した
旅館やレストランに出荷
でき
販路が拡大した

安全・安心

地元の新鮮な食材で
安全安心な食の提供!

南阿蘇村の景観が良好に
なり、お客さんが増え
た!

賑わい

飲食業や有機農業
関係で起業するぞ

空き家が減って、人や交流も増え
て
むらが賑やかだわ

< 優先して取り組むべき施策 >

●農地集約・後継者育成

- ・鳥獣害に負けない品目の選定
- ・安定した経営類型の作成、実践
- ・農業後継者の育成

●有機農業の推進

- ・ソバ「有作くん100」の認証の拡
- ・生産、出荷組織体制の整備
- ・環境保全の取り組み推進・PR

●農観連携の推進、特産品開発

- ・農業、観光双方の理解促進
- ・農産物配送体制の確立
- ・地域食材利用のメリット感の創

●関係人口の拡大

- ・観光プログラムの開発・商品化
- ・農村ガイド養成

+ α の取組み

●空き家の活用

- ・移住者向け住居の整備
- ・集落との協働による空き家確保

●イベントの開催

自転車の世界大会開催

南阿蘇の風景をつくるごはんPR



南阿蘇の風景をつくるごはんPR

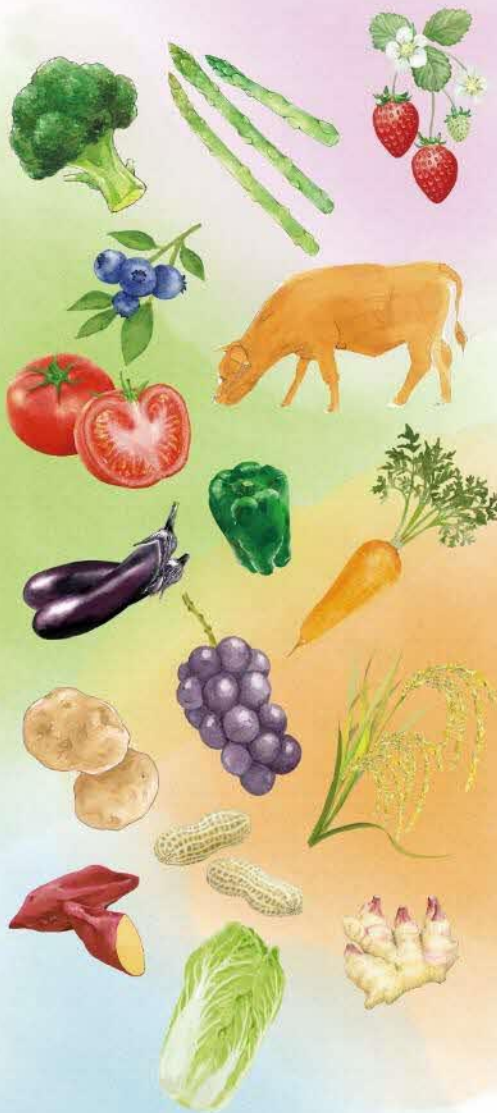
南阿蘇の魅力は「風景」とよく言われます。
その風景をよくご覧ください。

五月晴れに美しい水田。
たわわに実るブルーベリー。
白い花がまぶしいそば畑。
黄金に揺れる稲穂。
草原をかっばするあか牛。
ハートの葉に隠れるムカゴ。
雪をかぶる立派な白菜。

そこにあるのは、
私たちのごはんを支える食べ物。
「農業」が「南阿蘇の風景」を
つくりだしています。

農業に携わる人の高齢化が進む今、
私たちはこれからも
「農業」を通じて
「風景」を大切にしていきたいと
考えています。
それは未来を生きる「子供たちの食」を
守ることであります。

南阿蘇の農産物を食べていただくことで
南阿蘇が元気になります。
私たちはそのサイクルを大切にすることで
「農業」と「風景」が輝き続ける、
そんな南阿蘇村を目指します。



南阿蘇の風景をつくるごはん
を
知る・楽しむ

南阿蘇村産の農産物が
食べられるお店で楽しむ



南阿蘇村産の農産物を
購入する



お問い合わせ先

- 南阿蘇村環境保全農業推進協議会
〒 869-1404 熊本県阿蘇郡南阿蘇村河陽1705
南阿蘇村役場農政課内
Tel. 0967-67-2707
- (株)南阿蘇村農業みらい公社
〒 869-1501 熊本県阿蘇郡南阿蘇村両併995
Tel. 0967-65-8107

南阿蘇の食材を使う飲食店をPR

未来へつなぐ
南阿蘇の風景
MinamiAso

たべる まもる つくる かかわる 会員向け

■ たべる



南阿蘇の風景をつくるごはん

風景をつくるごはんを食べられる店舗



道の駅 あそ望の郷くきのあじわい館

TEL : 0967-67-3010

住所 : 阿蘇郡南阿蘇村久石2807



そば道場

TEL : 0967-67-0507

住所 : 阿蘇郡南阿蘇村久石2776



南阿蘇オーガニックカフェ ASOBIO

TEL : 0976-67-3118

住所 : 阿蘇郡南阿蘇村河原546-4



田楽 奥阿蘇

TEL : 0967-62-3228

住所 : 阿蘇郡南阿蘇村向井2408-5



スキレット料理 Minaasoマルデン

TEL : 0967-65-8557

住所 : 阿蘇郡南阿蘇村河原5277



カフェ・レストラン 阿里美

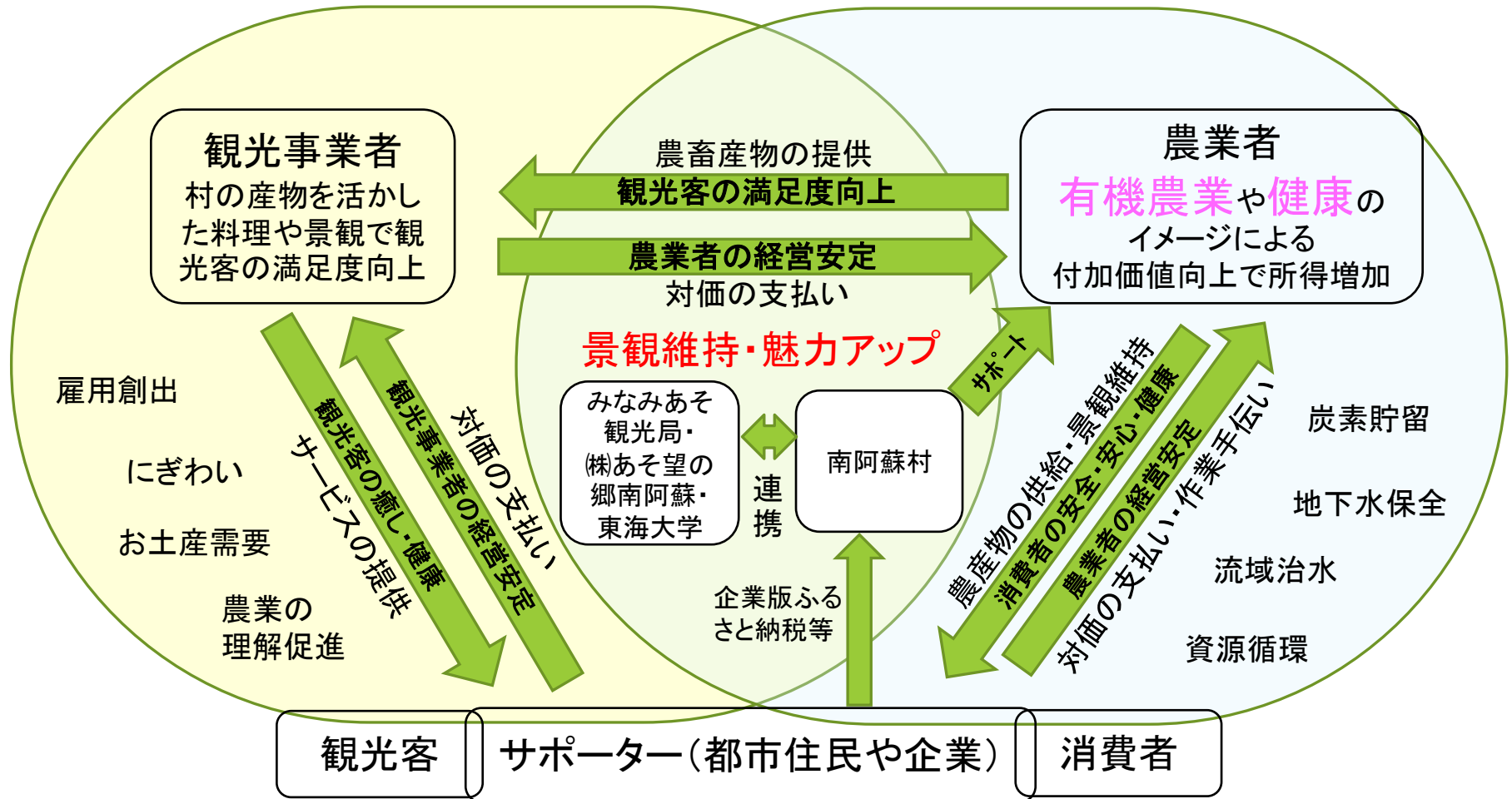
TEL : 0967-62-8141

住所 : 阿蘇郡南阿蘇村中松3300-1

農業体験の受入れとファンづくり



人に良い食で健康と景観を守る





阿蘇の 草原を守る

SAVING THE GRASSLANDS OF ASO



2021年3月発行
2022年3月改訂



阿蘇くじゅう国立公園



阿蘇草原保全活動センター
〒869-2307 熊本県阿蘇市小里656



阿蘇草原再生募金のご案内
(阿蘇草原再生協議会)



野焼き支援ボランティアのご案内
(阿蘇草原保全センター)



人々の暮らしと 千年の草原

阿蘇の草原は、はるか昔に起こった巨大噴火を伴う阿蘇山の火山活動によりできた火山台地の上に広がり、千年以上前から現在も続いている人々の営みによって草原が維持されてきました。阿蘇の草原の姿は、長年にわたって人間と自然がつながっている証であると言えます。

阿蘇の景色は、とてもバラエティに富んでいます。険しい岩がむき出しの山があれば、遠くまで見通せる平野となだらかな丘もあります。これらの景色は、27万年から9万年前に起こった阿蘇山の噴火によりできたもので、鍋底のように凹んだ阿蘇カルデラができました。

阿蘇の草原は、人の手が何も加わらなければ、木々が生き茂り、最後には森林になってしまいます。この地域に住み始めた

先人たちは、草原を維持し、草原に広がる野草を農業や牧畜に利用していたと考えられます。

さらに、およそ1,100年前に書かれた延喜式に、阿蘇の草原を「牧（まき）」として活用していたことに関する記述があり、少なくとも9世紀頃の時代に暮らしていた人が、阿蘇の草原をすでに活用し、重宝していたことが分かります。

現在、わが国の人口は減少し、ライフスタイルが大きく変化し、阿蘇の草原の広さは年々小さくなっています。草原を維持していくには多くの人手が必要であり、地元の人々を中心にどのようにしていけば草原を残していけるかを検討し、積極的に取り組んでいます。



阿蘇草原の色彩は、5月には鮮やかな新緑色に、秋には日光が射すと輝く黄金色に染まり、季節によって劇的にその様相を変えていきます。



生物多様性

阿蘇の草原には、様々なユニークで貴重な昆虫、植物等が共生・生育しており、とても豊かな生態系が成り立っています。例えば、オオルリシジミのような絶滅が危惧される生物種が多く存在しています。



農業と野草

阿蘇の土壌は火山灰を含んでおり、農業に適しているとは言えません。しかし、阿蘇の農家は、草原の野草を堆肥として火山性土壌に混ぜ、肥沃にする等の工夫を重ね、今では阿蘇高菜やツルノコイモ（里芋の一種）等のおいしい地元農産物を栽培しています。



水源涵養力

阿蘇地域の降水量は年間3,000ミリ以上もあり、全国平均の約2倍になります。この雨水の多くは、浸透しやすい草原を通り地下に大量に蓄えられます。その蓄えられた水が豊富な湧水等となり、九州の主要河川の水源地として供給され、その流域の農業用水や九州に住む多くの人たちの生活用水となっています。



伝統文化

阿蘇での千年を超えた暮らしの中で、阿蘇草原と阿蘇火山に密接に結びついた特有の伝統文化が生まれました。例えば、阿蘇神社で行われる「火振り神事」では、干した阿蘇の野草でできた俵を燃やし、振り回すことで、神様の結婚を祝い、五穀豊穡を祈ります。

草原の危機

ライフスタイルの変化による草原管理の危機

これまで、阿蘇の草原は、農耕用の馬や牛の牧場として利用されてきました。さらに、草原の野草を住居の茅葺き屋根の材料として、また暖をとるための燃料として等、地域住民の暮らしの様々な場面で欠かせないものとして用いられてきました。

今日では、ライフスタイルの変化により野草を生活の材料・道具として利用する人が少なくなっています。さらに、農作業用の馬や牛はトラクター等の機械に代わり、草原を放牧場とした牧畜業に携わる人も減少し、草原を利用する機会が激減し

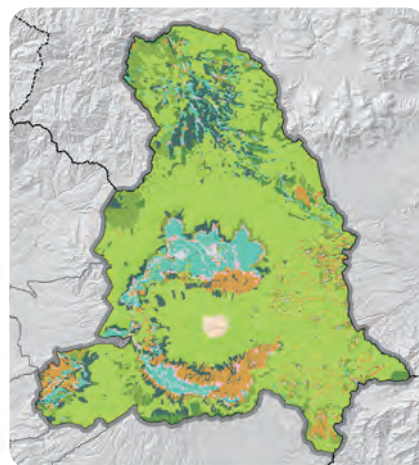
ています。その結果、草原の広さが100年前の半分以下に縮小し、今もなお減少し続けています。

減少する草原

右図は、黄緑エリアが草原で、深緑エリアは森林を示しています。ご覧のとおり、100年間にどれだけの草原が失われたかが分かります。

※画像提供：阿蘇世界文化遺産推進室

- 凡例
- 土地利用分類(2007年)
- 森林
 - 牧野・草地・裸地
 - 農地(畑)
 - 農地(水田)
 - 未分類(宅地・水面等)



西暦1900年頃



西暦2000年頃

草原の活用

草原は、美しい景観を形成するとともに、地元の生活様式、農業等の産業に大いに活用されてきました。阿蘇地域ならではの草原の活用方法をいくつか紹介します。



牛の放牧

牛は毎年4月から12月まで阿蘇の草原に放牧されます。野草が枯れる冬季は、自宅近くの牛舎に戻され、飼育されます。



緑草の収穫

枯れる前に、栄養のある野草を収穫します。数日間、天日干した後、冬季の家畜の飼料として貯蔵されます。



緑肥づくり

家畜飼料として使わなかった干し草を土壌と混ぜ合わせ堆肥をつくり、農耕作用の緑肥として用います。



茅葺き材の収穫

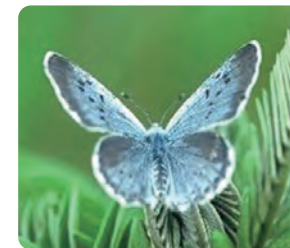
文化財などの茅葺き屋根建築の葺き替え材として、冬季の枯れ草を収穫します。茅葺き材の収穫は、新たな草原利用を生み出す事業として期待されています。



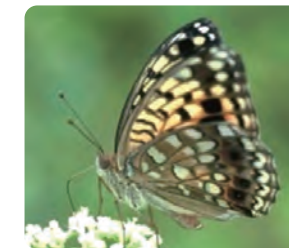
草原の恵み・機能

生物多様性

阿蘇の
草原を守る



オオルリシジミ



オオウラギンヒョウモン



ヒゴタイ



スズラン

阿蘇の草原は、多くの動植物にとって重要な生息・生育地であり、阿蘇に生育する植物約1,600種のうち約600種が草原に生育しています。その草原は、貴重な蝶、鳥類、ほ乳類が生息する豊かな生態系の基盤となっています。

例えば、オオルリシジミは草原の野草（クララ）を、ダイコクコガネは草原に棲む動物のフンをエサ

にしています。それらの昆虫や野草の種子等を狙ってコジュリン等の草原性鳥類がやってきます。

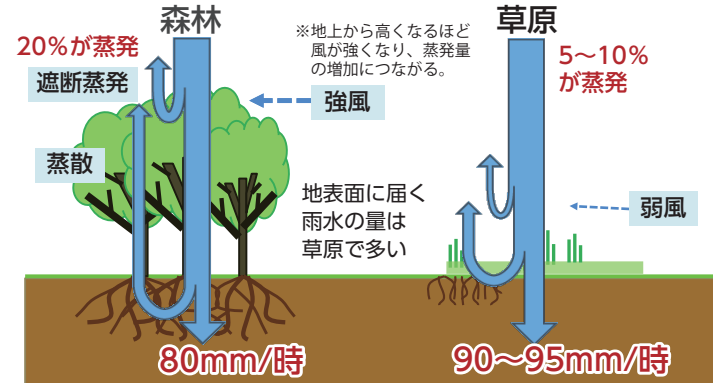
様々な動植物たちの関わり合いにより形成されている草原は、私達に美しい景色やレクリエーションの場を提供してくれるだけでなく、山菜や盆花のような生活物品や農耕用に用いる緑肥など、地域の資源となります。

水源涵養力

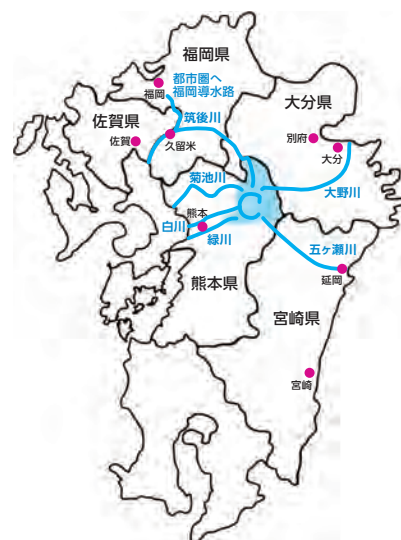
阿蘇の草原には、全国年間平均雨量の約2倍を超える雨が降り注ぎます。広大な草原を覆う野草が雨水の流れを穏やかにし、火山性土壌の大地に大量の水を染み込ませていきます。阿蘇五岳や外輪山などに浸透した雨水は、20~30年かけて地下を通り、1,500箇所以上あると言われる湧水地等から九州内6つの主要河川に流れていきます。農業用水や飲料水などに利用され、この河川流域に生活する人口約500万人の暮らしを支えています。



阿蘇の草原の水源涵養力における特徴は？ (100mm/時の降雨)



今後、草原が減ると地下水量、河川水量が減少
塚本良則編「森林水文学」を参考に草原再生協議会作成



防災・減災

阿蘇地域は、岩盤の上に厚く火山灰が堆積した地質です。大雨や大きな地震に曝された際、表層の火山灰土壌が移動する斜面崩壊がよく見られます。崩壊地が草原である場合は、森林である場合と比べ崩壊土量は少なくなり、被害の軽減に繋がります。さらに、草原は回復が速く、土壌浸食や崩壊再発の防止に役立っています。



1990年豪雨による表層の崩落



5年後の植生が回復した様子

大滝典雄氏提供

炭素固定化

阿蘇の草原は、その地下に炭素を蓄積し続けています。野焼き後に残る炭、野草の根等の分解物が、炭素を含んでいる有機物として土壌に蓄積されるからです。阿蘇の草原による炭素の年間の蓄積速度は6.9t/haと言われ(Toma et al. 2013)、野焼きを行っている草原16,912ha (熊本県2016) で換算すると、約43,000世帯が1年間に排出するCO₂に匹敵する炭素 (家庭部門の世帯あたり年平均CO₂排出量2.72t:環境省2021) を固定している計算になります。現在、阿蘇都市の世帯数は約25,000世帯 (2015年国勢調査) ですので、阿蘇都市の全世帯が1年間に排出するCO₂量の1.7倍に相当する炭素を草原が固定していることとなります。野焼き等によって維持されてきた阿蘇の草原は、地球温暖化防止の観点からも未来に残す価値が高いと考えられます。

阿蘇の草原の炭素固定機能



Toma et al.2013をもとに高橋佳孝氏作成

約50年間の土壌炭素蓄積量



Toma et al.2013をもとに高橋佳孝氏作成

ボランティア
阿蘇の草原維持・再生にとって、野焼きボランティアが重要な役割を担っています。毎年、全国から何百人もが草原維持に必要な作業「輪地切り」や「野焼き」を手伝っています。このボランティアでは、作業技術の熟度向上だけではなく、阿蘇草原の成り立ちや知識の理解向上を図る研修プログラムが設けられています。
(裏表紙にQRコード記載あり)

草原維持・再生のポイント



牧野ガイド (サイクリング)

普段立入ることができない牧野(草原)に特別に立入ることが許されたガイドツアー。



草原学習

次世代に阿蘇草原の大切さをよく知ってもらうことが、草原維持・再生の取組にとって重要です。地元の子ども達を対象に、草原維持・再生について学ぶためのワークショップ、体験活動、展示発表会を実施しています。

阿蘇の草原を守るために あなたができること

危機に瀕している草原と地元の暮らし

阿蘇の草原が減少している一方で、地元では草原を維持・再生していこうという取組が広がってきています。野焼き、輪地切り、野草の収穫、野生生物の保護等におけるボランティア活動が盛り上がりを見せ、今、阿蘇草原の維持・再生に大きな役割を果たすようになってきました。その様なボランティア活動に参加してはいかがでしょうか。

草原の維持・再生に貢献する新しいピ

ジネスも色々模索されています。例えば、「牧野ガイド」と呼ばれる一定の研修を受けたガイドが企画するサイクリング等のアクティビティツアーに参加すると、そのツアー料金の一部が草原の維持費用に還元されます。その様な阿蘇観光の中でも草原維持・再生に貢献できるものを探してみてください。

阿蘇に訪れなくても、草原の維持・再生を手助けできることもあります。その一つ

が寄付です。観光施設等に150以上設置している募金箱への募金や、オンライン募金(裏表紙にQRコード記載あり)は「草原の維持・再生」の活力となるでしょう。また、あか牛オーナー制度を利用すれば、阿蘇草原に放牧されている「あか牛」のオーナーになることもできます。その牛の名前を付けたり、阿蘇の食材を購入することが、阿蘇の農家の支えになり、その結果、草原の維持・再生に繋がります。

野焼き

毎年3月頃に行われる阿蘇の野焼きは、作業者はもちろん観光客等周囲の安全確保にも細心の注意が払われて行われます。この野焼きにより、草原に低木や樹木が繁茂することを防ぎ、害虫を駆除し、さらに新たな芽吹きが促されます。野焼きが終わると、焼けた地面から草花の新しい芽がすぐに出て、草原の風景を再び緑に変えていきます。



輪地切り

輪地切りとは、9~11月頃に春の野焼きの火を制御する防火帯をつくることを言います。草原と樹林の境界又は管理地の境界に沿って野草を短く刈っていき、細長い線状に防火帯がつけられます。輪地切りによって野焼きの火の延焼を防ぎますが、この野焼き・輪地切りは毎年行われる大変な作業なので、人手を減らす工夫が必要です。



阿蘇の素晴らしい地元農産品とあか牛を楽しんでもらえれば、幸いです。

日本の国立公園

国立公園は、日本を代表する自然の風景地として、自然公園法に基づいて国が指定するものです。北は北海道から南は沖縄、小笠原諸島まで34の国立公園が指定されており、年間3億人以上が利用しています。

国立公園内は、自然の絶景だけではなく、野生の動植物、歴史文化などの魅力の宝庫です。日本の国立公園は、森林、農地、集落など多様な環境が含まれていることが特長です。ほとんど手つかずの自然が残されているところがある一方で、自然と人の暮らしが織りなす地域の歴史や文化にふれることができます。

是非、実際に国立公園を訪れ、四季折々に変化する日本の美しい自然を満喫してください。

阿蘇くじゅう国立公園

草原のかほり、火山の呼吸。風と水の恵みを人が継ぎ人が繋ぐ、感動の大地。

指定：昭和9年12月4日

面積：72,678ha

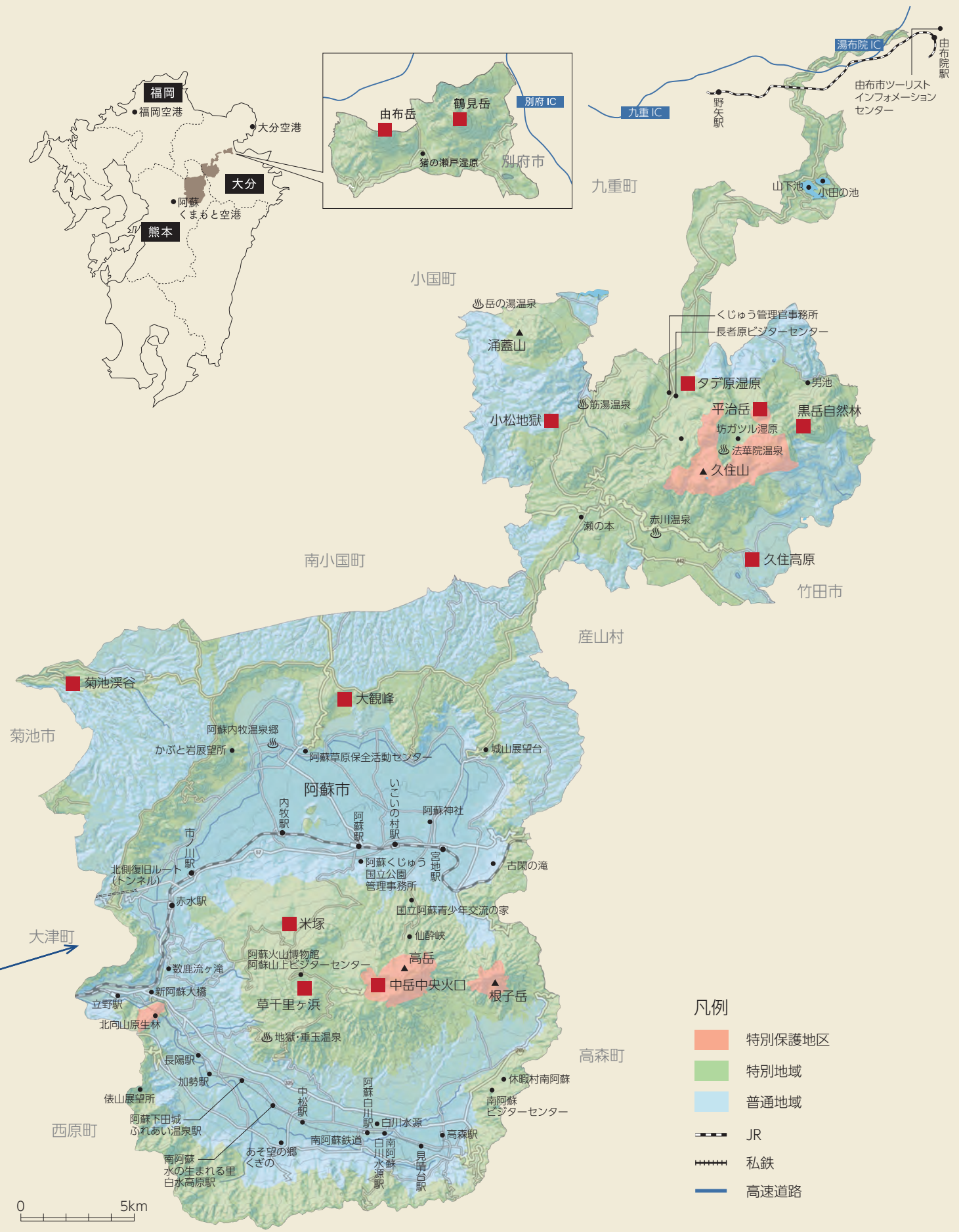
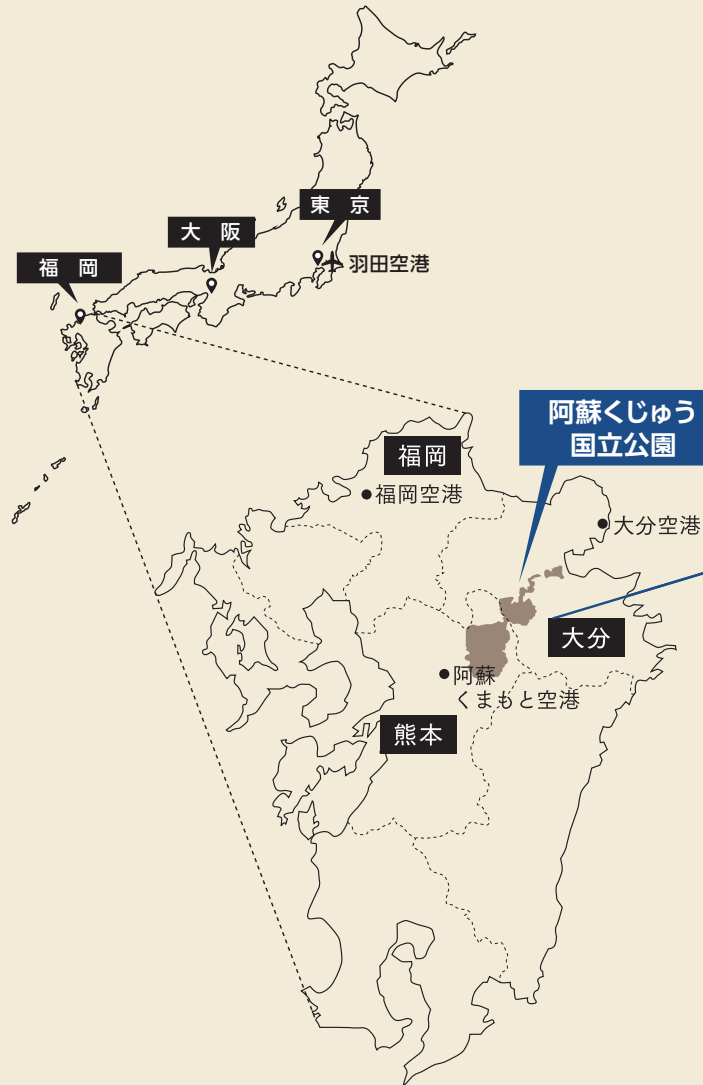
熊本県、大分県

阿蘇くじゅう国立公園は、昭和9（1934）年に誕生しました。本公園の大きな特長は、大カルデラにそびえる阿蘇山やその北に連なるくじゅう連山などの火山群、そして、その周囲に広がる雄大でなだらかな草原です。

公園南部の阿蘇山の周辺では、噴煙をあげる中岳の火口や美しい円錐形をした米塚、広大な草千里ヶ浜、それらを取りまく火口原と外輪山など、雄大で素晴らしい風景を連続して見るすることができます。

また、公園中部のくじゅう連山の周辺では、あちらこちらで硫気現象がみられ火山特有の風景地が点在するほか、久住高原や飯田高原などの広大な草原、さらにはタデ原湿原や坊ガツル湿原など学術的にも貴重な湿地など、見どころが豊富な地域です。

公園北部には、別府や湯布院などの温泉の源でもある鶴見岳や由布岳が美しい山容を誇っており、山稜からは別府湾から由布院盆地、くじゅう連山までを一望することができます。



- 凡例
- 特別保護地区
 - 特別地域
 - 普通地域
 - JR
 - 私鉄
 - 高速道路

What is Organic?

有機農業ってどんな農業？

熊本県

山都町
やまとちよう



What is 有機農業?

有機(オーガニック)農業とは、化学肥料・化学合成農薬に頼らず、**土が本来持つ力**を活かし、そこで生きる**生き物と共生**しつつ、自然との調和を大切にしながら行う**環境にやさしい農法**のことです。



山都町は、有機農業 全国 No.1 のまち!!

山都町の有機農業の歴史は**1970年代**から始まります。今や**有機JAS認証事業者数は全国で一番多く**、年間を通してたくさんの種類の野菜やお米を育てています。

2021年には小中学校の給食で有機米の提供が始まるなど、ここ山都町では、有機農業は特別ではなく当たり前の農業として親しまれています。全国から有機農業を志す移住者が年々増えており、先代からの想いと技術は、人々の健康と山都町の土壌を守りながら、次世代の担い手たちへと受け継がれています。

山都町は「くまもとグリーン農業推進宣言」を 県内で一番最初に宣言しました。

「くまもとグリーン農業推進宣言」とは?

熊本の宝である「地下水」と「土」を農業によって守り育てていくため、土づくりを基本に化学肥料や化学合成農薬の使用を減らした、**環境にやさしい農業を推進**して行くことの宣言です。**山都町は県内の自治体で初めて宣言を行った町**です。さらなる推進のため、**生産宣言と応援宣言数を2020年までに2020件にする目標を掲げそれを達成し、2021年には「くまもとグリーン農業表彰」を受賞**しました。

What is 有機JAS?

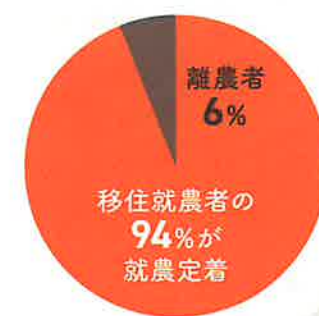
2~3年以上にわたる化学肥料と化学農薬の不使用、畑の条件や栽培記録などの厳しい審査を経て、**第三者機関が証明する「有機JAS」**を取得できます。そして、その畑で作られた野菜に「有機JAS」を表示することができます。人にも環境にもやさしい農法で作った山都町の有機(オーガニック)野菜は、皮も葉もまるごとおいしく食べることができます。



この緑のマークが有機JASの認証を取得した印



移住者の就農定着率
94%
移住者の多くが
新たな担い手へ!



山都町には 有機農業協議会があります

2003年、有機農業者や有機グループ、また農薬不使用、減農薬など環境保全型の農業者が一体となり有機農業推進の実現のために生産者間の交流をはかりながら、有機農業経営の確立を目指し更には有機農法の普及、食に携わる人や消費者の人たちとの距離を近づけていくことを目的に「山都町有機農業協議会」が設立されました。

活動内容

1. 有機農業経営確立の為の研修会や情報交換
2. 地産地消として学校給食へ安全な農産物の供給
3. 新規就農者への体験、技術指導
4. 食農教育ボランティアの参加、協力
5. こども野菜塾の開催



山都町有機農業協議会ホームページ
<https://yamato-yuki.jimdofree.com/>



山都町農産物ブランド化推進協議会
事務局 山都町役場 農林振興課

〒861-3518 熊本県上益城郡山都町浜町6番地
TEL 0967-72-1136 FAX 0967-72-1080

2022年2月作成

山都町は2021年に「SDGs未来都市」「自治体SDGsモデル事業」に選定されました



くまもとグリーン農業生産宣言

生産宣言

(JAS法有機農産物)

「作付けの2年以上(多年生植物は3年以上)前から、化学肥料、化学合成農薬を全く使わずにつくられている」というマーク



くまもとグリーン農業応援宣言

応援宣言

消費者や企業・レストランなどが「くまもとグリーン農業を応援している」ことを示しているマーク



野菜の旬とは？

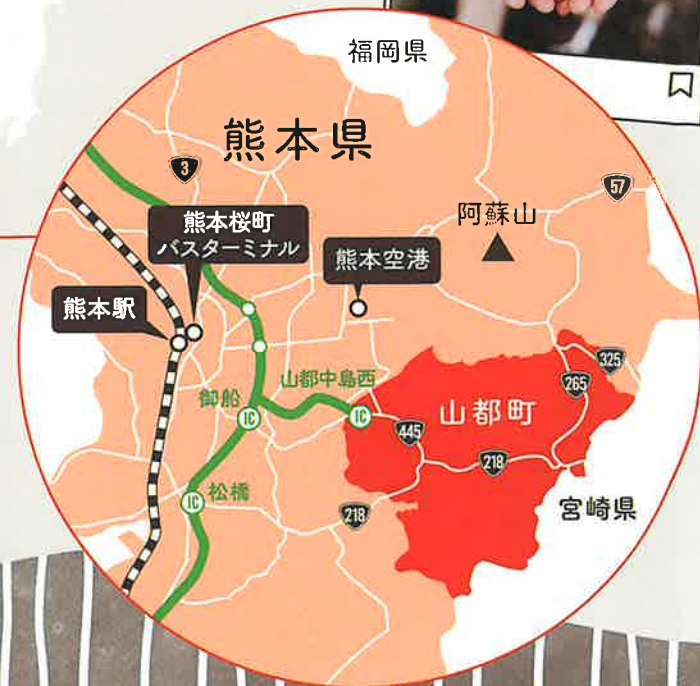
旬とは、その食材が一年で最もおいしく、栄養価が高くなる時期のことです。旬の野菜は、人間がその季節に必要な栄養素をたっぷり含んでいます。例えば、春の山菜は新陳代謝を活発にし、体の中をデトックスしてくれます。夏のきゅうりやトマトは、水分を多く含み、暑くほった身体を冷やします。秋のかぼちゃは、ビタミンやミネラルが豊富に含まれ、免疫力を高めます。冬のにんじんやだいこんは、寒さで冷えた体を温めてくれます。このように、旬の野菜には多くの役割があります。

山都町の旬の農産物カレンダー

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	上旬/中旬/下旬	上旬/中旬/下旬	上旬/中旬/下旬	上旬/中旬/下旬	上旬/中旬/下旬	上旬/中旬/下旬	上旬/中旬/下旬	上旬/中旬/下旬	上旬/中旬/下旬	上旬/中旬/下旬	上旬/中旬/下旬	上旬/中旬/下旬
トマト												
ピーマン												
なす												
きゅうり												
かぼちゃ												
さといも												
にんじん												
かぶ												
じゃがいも												
玉ねぎ												
だいこん												
高原レタス												
小松菜												
ほうれん草												
ちんげん菜												
ベビーリーフ												
米												
ブルーベリー												
栗												
いちご												

熊本県山都町はどんなところ？

熊本県山都町は、九州の真ん中「九州のへそ」に位置しています。標高300m~900mの冷涼な気候と寒暖差、そして山々からの清らかな水と、阿蘇山の火山灰を含んだミネラル豊富な土壌が、おいしい野菜を育てます。山都町の農産物には、土づくりや栽培、お手入れ、収穫まで、生産者の愛情が注ぎ込まれています。四季折々の自然に感謝し、「もっとおいしいものを届けたい」「みんなが元気になる野菜を食べてもらいたい」そんな気持ちで育てています。



山都町には農業研修制度があります

「山都地域担い手育成総合支援協議会」が農業研修から就農までのサポートを行っています。野菜や水稲、お茶などの栽培について、山都町内の先進農家で実践的な技術を学びます。県、JA等の専門機関とも連携を図り、月2回の集合研修(座学研修及び先進農家視察)、異業種との交流会を実施します。就農後のフォローも併せて行います。

山都地域担い手育成総合支援協議会ホームページ
<https://agri-yamato-kumamoto.com>

山都町の有機農産物が買える/ 山の都のやおやさん

<https://yamanomiyakono-yaoyasan.shop/>
 豊かな大地と清らかな水と心が育んだ農産物を有機農業全国No.1のまち山都町から直送いたします。



山都町のジビエが買える/ ジビエ工房やまと

<https://jibiekoubou.thebase.in/>
 ジビエ工房やまとは、野生の猪・鹿の解体処理・精肉加工を行っています。ブロック肉・スライス肉、ウインナーやハム等の加工品も販売しています。



山都町の豊かな環境や野菜については こちらからご覧ください/ 山の都のたからもの

<https://yamato-kumamoto.com/>



山都町概要



- 山都町位於九州正中央，被稱為「**九州の肚臍**」，544.67km²為全縣面積第3大自治體，全世界最大規模的阿蘇破火山口，其南外輪山幾乎都在山都町境內，町南側與九州脊梁山地相連，隨四季變幻的美景最負盛名。
- 2021年獲選為「**SDGs未來都市**」，以有機農業為主題，推動市鎮永續發展創生。
- 本町為「**有機農業全國No.1市鎮**」，位處海拔300~900m，在寒涼、冷暖溫差大的氣候中，以潔淨水質及蘊含豐富礦物質的土壤栽培營養又美味的農作物。
- 九州中央自動車道山都通潤橋交流道預計將於令和5年（2023年）度中通車，從福岡、熊本市區至山都町中央的交通將更加便捷！

豐富的歷史、文化、自然、美食



建於1854年的國家指定重要文化財產「**通潤橋**」，為日本最大規模的石造拱型水道橋，充滿魄力的放水遠近馳名。



在「**清和文樂館**」可欣賞日本為傲的傳統表演「**清和文樂**」人偶淨琉璃劇，山都町為九州唯一淨琉璃傳承表演地。



在有260年左右歷史的「**八朔祭**」中，會展出以天然植物手工打造、高約5m的「**大造物**」塑像。



絕景「**五老瀑布**」



彷彿伸出手就可以摘星，能欣賞滿天星斗的「**清和高原天文台**」



九州大峽谷「**蘇陽峽**」



多處充滿特色的**露營區**



「**有機農業全國No.1市鎮**」山都町自豪的美味農產品



熊本縣內最具歷史的酒藏「**通潤酒造 寬政藏**」，以及許多時尚咖啡店



YouTube【公式】山都町山の都創造チャンネル
【新規就農 PR 動画】
GIFT 山の都のたからもの



YouTube【公式】山都町山の都創造チャンネル
【SDGs PR 動画】
ゆうきをつくる町



阿蘇山麓のまち



山都町

YAMATO-CHO
KUMAMOTO/JPN

心も潤す
虹の架け橋

通潤橋

つら

じゅん

きょう

[国指定重要文化財]



2016年4月の熊本地震、2018年5月の豪雨、度重なる自然災害により石垣の一部が崩壊、そして長い復旧工事が完了。
先人たちの知恵と熱意がつくりあげた「通潤橋」の雄姿と豪快な放水がよみがえりました。



通潤橋の誕生話

(国指定重要文化財)

通潤橋は、1854年(嘉永7年)、四方を河川に囲まれた白糸台地に農業用水を送るために建設された日本最大級の石造りアーチ水路橋で、長さ約76m、高さ約20.2mを誇ります。通潤橋を渡った水は今なお白糸台地上の約100haの水田を潤しています。2016年4月の熊本地震による橋上部の損傷に加え、2018年5月の豪雨で石垣が崩落するなどの被害を受け、保存修理工事を行ってきましたが、2020年4月に約4年ぶりに放水が再開することとなりました。

その一

必要だったのでしょうか?



通潤橋は、白糸台地一帯に水を送るために農業用水路(通潤用水)の一部としてつくられた水路橋です。白糸台地(通潤橋史料館から見て右側の高台)は、川が削り取った深い谷に囲まれています。そのため、通潤橋がつけられるまでは湧き水などを利用した農業に限られていました。

その二

ここで惣庄屋さんは決意しました!

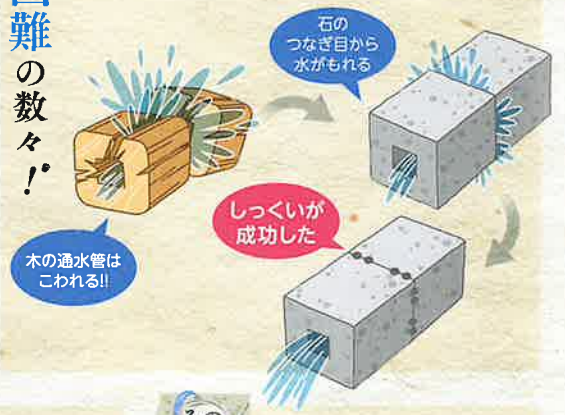


惣庄屋(現在の町長にあたる)布田保之助は、矢部地域の発展のため、通潤橋のほかにもたくさん道のりや用水路、石橋などをつくりました。この通潤橋の建設も、保之助が代表となって計画を立て、工事が進められました。

その三

立ちふさがる困難の数々!

通潤橋の高さは白糸台地よりも低い位置にありますが、取入口と吹上口の高低差により通水管の中を流れる水は勢いよく台地へ吹き上がります。この吹き上がる水の力でもこわれない丈夫な通水管をつくるため、石造りの管と継ぎ目に「漆喰」を使う方法がとられています。こうした通水管の仕組みは、当時「吹上樋」と呼ばれ、水路橋である通潤橋の最も重要な部分です。



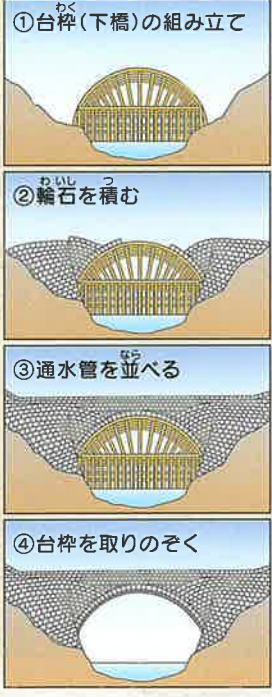
その四

全ては人の力がたのみ



通潤橋の工事は、1852(嘉永5)年12月に開始され、約1年8ヶ月の長い期間をかけて1854(嘉永7・安政元)年8月に完成しました。この間、大工や石工(石工頭は種山石工の宇一)のほか、白糸台地や矢部地域の大勢の人の力で工事が行われました。また、通潤橋より下流の白糸台地内を流れる用水路は、1855(安政2)年頃に完成しています。

工事の流れ



明治政府に認められた石工
橋本勘五郎
種山村(現八代市東陽町)の石工で、当時の名は丈八。通潤橋架設時は副頭として兄の宇一を補佐しました。のちに明治政府に呼ばれ、東京初めのがね橋である神田筋違眼鏡橋などを架設しました。帰郷後も明八橋、明十橋、下鶴橋などを架設した名工として知られています。

その五

現在も使われている用水路

通潤橋と用水路の完成により、約100ヘクタールの新しい水田がつけられました。用水路は、現在も白糸台地の農業を支えています。橋の近くには、布田保之助を神様とする布田神社があり、今も地元の人たちに感謝されています。



昭和~令和[文化財指定・修理等]

- 平成20年(2008)~2010年 「通潤用水と白糸台地の棚田景観」が国の重要な文化的景観に選定される。
- 平成26年(2014年) 通潤用水が「世界かんがい施設遺産」に登録される。
- 平成28年(2016)~2018年 通潤橋保存修理工事(熊本地震災害復旧・部分修理)
- 平成31年(2019)~令和2年(2020年) 通潤橋保存修理工事(H30年大雨災害復旧・部分修理)
- 平成12年(2000)~13年 「2000」2001年 通潤橋保存修理工事(部分修理)
- 昭和57年(1982)~58年 「1982」1983年 通潤橋保存修理工事(部分修理)
- 昭和46年(1971年) 通潤橋保存修理工事(部分修理)
- 昭和35年(1960年) 2月9日 通潤橋が国の重要文化財に指定される。

明治[表彰等]

- 明治元年(1868年) 10月 通潤用水等の業績により、布田保之助ほか村庄屋・百姓ら藩より褒賞される。
- 明治4年(1871年) 廃藩置県
- 明治6年(1873年) 布田保之助明治政府より表彰される。
- 昭和13年(1938年) 布田神社建立(布田保之助を祀る)

通潤橋と通潤用水の 水路図



円形分水
通潤橋から約6km上流にある農業用水を分ける施設です。中央から水が吹き出し、田の面積に応じて平等に水を分けています。



通潤用水 ～水の流れ～

江戸時代[建設時期]

嘉永4年〔1851年〕	10月 通水管(吹上樋・ぶきあげ)部分の実験。(木材を使用)
嘉永5年〔1852年〕	閏2月 通潤用水(橋と用水)の建設を熊本藩に申請(建設費用借用の願出)
3月	「こぶれがし」にて、通水管(吹上樋)部分の実験。(石材を使用)
11月	藩より工事着工の許可。
12月	通潤橋・通潤用水の工事を開始。
嘉永6年〔1853年〕	洪水により、下橋(支保工)と石材が流出する。
12月	眼鏡橋の完成。(通水管部分は未完成)。
嘉永7年・安政元年〔1854年〕	松板から石材へ変更する。
下橋(支保工)の除去。	
閏7月29日	通水管(吹上樋)一本のみ、通水に成功。
8月晦日	通潤橋の竣工。渡り初めを実施。
安政2年〔1855年〕	上井手のうち菅原川取水口、通潤橋まで完成。
安政3年〔1856年〕	上下井手の本線部がほぼ完成。
1月	真野源之助(熊本藩奉行、元上益城郡代)「通潤橋」と命名。

通潤橋・通潤用水
建設から現在まで
年表

2016年
4月

2018年
5月

熊本地震・豪雨による通潤橋の被害と復興



熊本地震により漏水する通潤橋

熊本地震の被害状況

2016年4月14日、16日に発生した平成28年熊本地震により、橋上に敷設されている通水管の目地から多量の漏水が確認されました。これは、地震により目地に充填されている漆喰が破損したことによるものと推測されます。

また、橋上端に積まれている石材(通称:手摺石)が、地震の振動によりずれが生じて外側にせり出しているほか、通水管の間にある被覆土にも亀裂が確認されています。

※前震:5強、本震:6弱



通潤橋上の漏水状況



橋上端にある石材(通称:手摺石)が外側へせり出した状況



橋上の被覆土に生じた亀裂



地震後の応急処置(橋上にブルーシート)

豪雨の被害状況

2018年5月7日、正午すぎ、熊本地震からの修理工事の完了を目前とする中、未明より降り続いた雨により、右岸上流側(道の駅側)の石垣の一部が崩落しました。崩落した壁石は93石。落石は、通潤橋の手前の土手や橋の下を流れる五老ヶ滝川の中にまで広がりました。通潤橋の歴史のなかで石垣が崩れたのは、初めてのことです。



壁石垣の崩落状況



崩れた壁石垣の石材



崩落した石材の引き上げ作業

**AR(拡張現実)で
通潤橋の
放水シーンが見れます**

ARサービス「ココアル」
COCOAR

App Store
ダウンロード

GET IT ON
Google Play

まずはアプリをダウンロード!

ココを
スキャン!!

iPhone・iPad をご利用の方

[App Store]から、AR専用アプリ「COCOAR2」を検索するか、右記のQRコードを読み取りインストール。

Android をご利用の方

[Google Play]から、AR専用アプリ「COCOAR2」を検索するか、右記のQRコードを読み取りインストール。

iPhone・iPad・Android共通



熊本地震からの復旧状況

2017年4月から修理工事に本格着手し、地震により変形した石垣上端の手摺石(上から2段)の積み直し、漏水が確認される通水管の目地漆喰の詰め直しを実施しました。地震で破損した目地は、通水管の各所で確認され、600m以上に及び目地に漆喰詰めを行いました。この工事期間中には、2000年～2001年の修理工事以来17年ぶりに橋上の被覆土を掘り上げ、農業用水を通す3列の通水管が姿を現しました。



手摺石取外し状況(左岸上流側)



漏水状況



露出した通水管



吹上口側の掘削状況



漆喰生成作業



漆喰詰替作業

しっくい
漆喰

赤土、砂、消石灰、塩、松葉汁(松葉の煮汁)を混ぜ合わせてつくりまします。通水管の目地の充填材として、建造当初より用いられています。



木管の取替後

豪雨からの復旧状況

2018年5月の崩落以後、河川や土手からの石の引き上げ、壁石の元の位置の特定等を行い、2019年4月から工事を進めました。石垣が崩れた後も通水管は原形を留めていましたが、石管の下に積まれている石材の損傷なども確認されたため、崩落部に近い通水管1列の37石を一度取り外した上で、修理を進めました。石垣は、崩落した93石を含む148石を積み直しています。今回の工事では、建造後初めて通水管の下部や石垣の内部の構造が露わになり、用水を通す通水管が変形しないよう、大きな石材でがっちり組み合わせられた状態が明らかになりました。



新材の加工



通水管下部の敷石の復旧



通水管の復旧



仮設足場設置状況



石垣積み直し(仮組み)



石垣積み直し作業の様子

通潤橋の 近くを散策 してみませんか



鮎の瀬大橋

全国でも珍しいV型橋脚と斜張橋の複合型。高さ140m、長さ390mから見渡す緑川の渓谷は圧巻。(通潤橋から車で約9分)

ごろうがたき 五老ヶ滝

【国名勝・県指定天然記念物】

山都町の多くの滝のなかでは最大の規模。50mの高さから滝壺へと落ちる五老ヶ滝川の流れは迫力満点で、時に虹がかかり、荘厳さを増す。周辺には通潤橋へと続く遊歩道が整備されており、気軽な散策にもおすすめです。



通潤橋を

案内人が
もっと詳しく
教えます。

重要文化財の石橋を知る！

通潤橋史料館

■ 問 / 山都町下市182-2 ☎ 0967-72-3360

■ 営 / 10時～16時 休 / 12/29～1/3

■ 料 / 入館料大人310円、小中学生160円 ※要予約

史料館では通潤橋の仕組みがわかる模型をはじめ、建設当時の設計書や実物の石管や木管などが展示され、中でも200インチの大画面で見る放水シーンは大迫力です。案内人は館内の説明だけでなく通潤橋のガイドもボランティアで行ってくれます。



日向往還の宿場町

浜町散策

浜町商店街は平成24年度「くまもと歴町50選」に選定されました。

至熊本・新船IC、山都中島西IC



[山都町観光文化交流館] やまと文化の森



館内の情報発信 資料展示室・交流室

館内には山都町の誇る文楽や神楽などの伝統や文化を紹介するコーナーを設け、文字通りこの場所を拠点として各所への周遊を誘致する仕掛けを作ります。また、山都町内で発見された文化財や史料、山都町矢部地区との関わり深い阿蘇氏に關係する歴史の展示も行い、学習活動にも活用できます。

- 問/山都町下市16 ☎0967-72-9400
- 営/9:00~17:00
- 休/毎週月曜日(月曜日が祝日又は振替休日の場合はその翌日)、年末年始、文化財等の入替時
- 料/入館料無料

道の駅 通潤橋

- 問/山都町下市184-1 ☎0967-72-4844
- 営/物産館 虹の通潤館 9:00~17:00
食事処 いしばし 11:00~15:00(14:30OS)
- 休/物産館 虹の通潤館 12月31日~1月1日、食事処 いしばし 12月31日~1月2日
- 駐車場/大型18台、普通136台、障がい者専用2台
- トイレ/男・女・多目的(障がい者専用)
- 物産品/矢部茶・ゆず加工品・清酒・農産加工品



道の駅 清和文楽邑

- 問/山都町大平152 ☎0967-82-2727
- 営/清和物産館9:00~17:00、レストラン及び郷土料理館
※団体、弁当など要予約 11:00~15:00
- 休/毎週火曜日(祝日除く)、年末
- 駐車場/大型4台、普通61台、障がい者専用4台
- トイレ/男・女・多目的
- 物産品/高冷地野菜、湧水米、トマトジュース、栗笑、栗の渋皮煮、山里のめしだねなど
- ホームページ/http://seiwabussankan.com/



泊まれる道の駅 そよ風パーク

- 問/山都町今297 ☎0967-83-0880
- 営/レストラン 11:30~14:30、17:00~20:30 OS ※夜は予約のみ
そよ風浴場 期間限定開場。要問い合わせ(GW、夏休み)
物産館 9:00~17:00 (毎週火曜日休館)
- 休/施設整備のため臨時休業あり、レストランマム/6月・12月の第1月・火曜
- 物産館駐車場/大型2台、普通15台、障がい者専用2台
- 物産館トイレ/男・女・多目的(障がい者専用)
- ホームページ/http://www.s-kaze.jp



通潤山荘

通潤橋から徒歩5分。九州山地を望み、自然豊かな環境の宿です。客室は和室と洋室の2タイプが用意され、筋肉痛や神経痛に効くと評判の天然温泉が人気です。夕食には、肥後牛やヤマメの塩焼き、山菜など、季節の食材を生かした会席料理をいただけます。また、地元野菜をふんだんに使った里山バイキング(昼のみ)1,200円もあります。

- 問/山都町長原192-1 ☎0967-72-1161
- 営/レストラン「しゃくなげ」
11:30~14:30(14:00 OS) 18:00~21:00(20:30 OS)
- 休/なし
- ホームページ/http://tsujun-sanso.jp/



西日本最大級、あそび度200%!
服掛松
キャンプ場

オートキャンプ最高!
歌瀬
キャンプ場

高原の夜空に
星がふる
清和高原の宿 &
清和高原天文台

渓流を間近に
大自然を満喫
猿ヶ城
キャンプ村

元小学校校舎。
なつかしさがうれしい
清流館

だれでもカンタンに
溪流釣りが楽しめる
緑仙峡
フィッシング
パーク

川遊びに、体験学習、
いろいろ付のロッジも
大人気
青葉の瀬

阿蘇外輪山に広がる
高原
井無田高原
キャンプ場



通潤橋の放水について

通潤橋は現在も白糸台地へ水を送る現役の水路橋であるため、放水の水も農業用水を利用していただきます。そのため、放水予定日であっても急きょ放水を取り止める場合があります。

◎例年5月中旬から7月下旬までは農地かんがいのため、12月から3月までは通潤橋の石材の凍結を防止するため、放水は行いません。

◎9月上旬の「八朔祭」は特別時間での放水となります。このほか特別放水を行うことがあります。

通潤橋の放水スケジュールに関するお問い合わせ先は下記まで

通潤橋の放水スケジュールは

山都町観光ナビ

山都町役場 山の都創造課

〒861-3592 熊本県上益城郡山都町浜町6
TEL:0967-72-1158 FAX:0967-72-1080
URL: <http://www.town.kumamoto-yamato.lg.jp>

一般社団法人 山都町観光協会

〒861-3513 熊本県上益城郡山都町下市184-1
TEL: 0967-72-3855 FAX: 0967-72-3853
URL: <https://kumamotoyamatour.wixsite.com/mysite>

讓“梯田”和“心靈”都煥發活力
～傳承167年的通潤精神,面向未來～



熊本県山都町 白糸第一自治振興会

1

◆山都町簡介

- 位於熊本市東部，幾乎是九州的中心被譽為“九州肚臍”之鄉
- 利用海拔約200～1700m的半高寒氣候盛產西紅柿、捲心菜、青椒等夏秋季蔬菜
- 日本最好的有機農業之鄉，近年來移居人數不斷增加



2

◆白糸地區概要



將水輸送到白糸高原的石拱橋 通潤橋



白糸高原の梯田風景

◆白糸地區概要

項目	內容
總戶數	174戶
農戶數	80戶
農戶率	46%
專業農戶	22戶
第1種兼業農戶	10戶
第2種兼業農戶	48戶
農戶人均耕地面積	1.7公頃



白糸地區茶園



大多數農民種植水稻

◆村造活動的動機和背景

- 自治組織成立前居民已經對梯田·通潤進行用水管理活動
- 2006年白糸第一自治振興會成立

- 2008年“通潤用水和白糸高原梯田景觀”被選為日本重要文化景觀
※梯田是首例
- 2010年白糸高原全區域被選為重要人文景觀

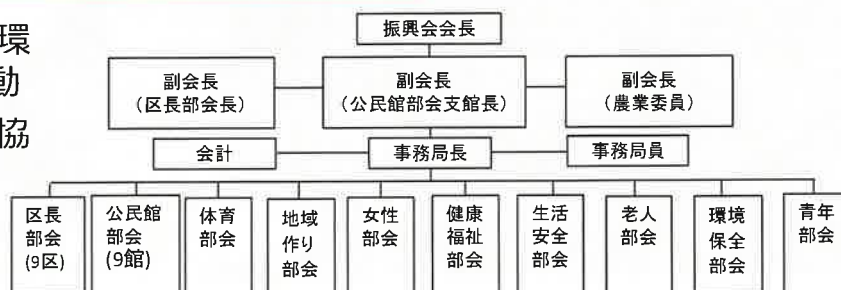
- 以“通潤用水和棚田振興地區發展”為口號，舉辦以重新發現該地區和了解現狀為目的的研討會，以及關於白糸的歷史、自然環境和美食的研討會。

居民自願維護景觀和提高意識的學習活動變得更加活躍。

◆推廣村造制度

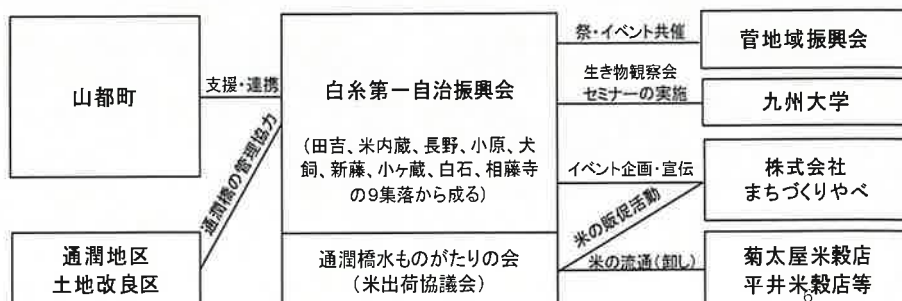
白糸第一自治振興會

- 成立於2006年
- 有10個小組委員會，地方自治活動、環境保護、健康促進、交通安全等志願活動
- 振興會舉辦週年紀念活動和整治地區協力合作的“通潤用水”環保活動



【通潤橋水物語之會的定位】

- 城鎮以土地改良區為首聯合大學和物流相關人員和第三部門“まちづくりやべ”，積極展開“白糸第一自治振興會”一體化的區域內大米出貨調整和銷售活動



◆ 農業生產特點

① 努力提高特種栽培稻米的品質

- 建立專項栽培標準
- 用溫水消毒種子
- 出貨前用味覺儀檢查蛋白質含量是否在6.5%以下方可出貨
- 使用竹粉改良土壤



② 梯田米品牌推廣和擴大銷路

- 成立協議會「通潤橋 水物語之會」
- 註冊「通潤橋水物語(梯田米)」商標
- 採用反映女性思維意見的包裝設計



- 2015年被定為繳納家鄉稅的回禮品
- 通過大阪的批發商在大阪的數家百貨公司中銷售
- 以在東京的熊本家鄉菜館為首，縣外的餐廳也使用該產品，JR九州則作為年末禮品促銷。

農戶到手收入

比原本增量1.5倍
18000日元/60kg
和增加種植水稻農戶收入息息相關



水
もの
が
た
り

③ 167年間持續進行通潤用水的環保活動

- 全民總動員維護和管理上水流、下水流及保護梯田景觀
- 當地的矢部高中生每年都參加
- 想向後輩們宣傳水的重要性



◆生活和環境保護方面的特點

①提高公眾對景觀維護的認識和學習活動

2010年評選為重要
文化景觀紀念慶典

夢幻般的白糸梯田竹
燈籠



連續多年舉辦以創
建區域展望未來職
場為目的以自然環
境、梯田和食品為
主題的研討會

①提高公眾對景觀維護的認識和學習活動



九州大學與山都町教育委員會合作舉辦「生物觀察會」

11

②以舉辦本地梯田SUMMIT為契機加速城鄉之間的交流

2012年全國梯田千枚田SUMMIT

當地居民作為小組成員
參加每個小組委員會
接待實地考察，介紹了
梯田和灌溉渠，並提供
了鄉村美食和便當



作為首個以當地居民為
主導的梯田SUMMIT實
踐案例

梯田SUMMIT之後、區域
發展活動如火如荼





山都町志願者自費出版的繪本
 《通潤橋 渡水之橋》於2017年被納入道德教科
 書，深受全國小學教師的喜愛。



③ 啟動震後梯田重建工程

梯田修復志願者

熊本地震後
從2016年~2021年
共25次 縣內外超過
400人參與



④ 打造能讓移居者和年輕女性積極發揮能力的區域



山都町被選為“可持續發展未來城市”
“公共團體可持續發展模範”！



支援新手農業者
獲得技能



返鄉農業者活躍於農業



向移居者傳承家鄉風味(YAMANMANO會)

2015年~2020年 移居山都町有63戶共124名

⑤與企業的CSR（企業社會責任）活動合作，努力創新

・積極接受三得利、LUSH、歐舒丹等企業的CSR活動，通過志願者活動持續開展交流活動

・與NPO法人 環境リレーション研究所合作，啟動了維護鄉山的“100年造林計劃”



◆展望未來

①建設以農業為基礎的可持續發展地區

- ・擴大“通潤橋水物語”的銷路並增加處理量
- ・和山都町的楷模SDGs（持續發展目標）共同努力

②努力把傳承167年的通潤精神傳頌給後生們

- ・上水流、下水流的維護和管理
- ・梯田景觀保護
- ・豐收節、交流節、新茶節
- ・傾聽年輕人心聲的社區活動

③加深與成為白糸地區熱愛者的互動，打造地區首選

- ・標繩製作傳承會
- ・築建徒步路線
- ・森林維護和植樹活動

通潤精神

「豐富的內心，勤勞的甜蜜，創造的喜悅，堅強的意志」





今後我們也將振興該地區為目標盡最大的努力！